

中日会報

公益社団法人 中日書道展 編集事務局
 〒450-0002 名古屋市 中村区 名駅二丁目 45-19 室
 桑山ビル 8 階 C 号
 電話 (583) 19000
 F A X (583) 19100
<http://www.cn-sho.or.jp>
info@cn-sho.or.jp
 印刷 株式会社 荒川印刷

理事長あいさつ



理事長
伊藤 仙 游

神田真秋様から追悼文をご寄稿頂きました。お忙しい中本会のためにご寄稿下さり本当に有難く心より御礼申し上げます。

さて令和四年度が始まりました。コロナ禍の影響が長く続いておりますが、その時々で事務局として出来る範囲の活動を進めてまいりました。中でも第七十回記念中日書道展を無事開催し、特別展観「令和を拓く大作展」も開催できましたことは大きな喜びであり、また、文化芸術が私達に与える良き影響を実感した時でもありました。

本年度は既に第七一回中日書道展の準備が進行しており、作品をご出品いただいた時期かとも思います。コロナ前のように完全な形で開催はまだ難しいかもしれませんが、出来るかぎり一杯の活動をと考え、特別展観も準備致しております。中日書道展以外の事業も着々と計画が進められております。

会員数の長期減少傾向、創立九十周年記念の準備など、懸案事項はたくさんありますが、「一致協力・前向きに」をモットーに、事務局一同懸命に進めてまいります。会員の皆様・協賛会員の皆様には書を愛する仲間として、以前にも増してご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

本年度は最初に悲しいお知らせをせねばなりません。前回の会報に年頭所感をお寄せ下さった本会名誉会長海部俊樹先生が、令和四年一月九日にご逝去されました。お元気でいらっしやると拝察しておりましたのに、非常に残念でなりません。心よりご冥福をお祈り申し上げます。先生には平成四年に社団法人の会長及び公益社団法人設立に伴い名誉会長にご就任頂き、実に二十九年の長きにわたり本会の象徴としてお勤め頂きました。内閣総理大臣にご就任されるなど、先生の政治的な業績は申し上げるまでもなく皆様よくご存じですが、政界でのクリンで明朗なイメージそのままに颯爽とご登壇ご挨拶され、総会を華やかに盛り上げて頂くなど、本会の種々の行事に多大なご尽力を賜りました。衷心より御礼申し上げます。

本会報には海部俊樹先生を偲んで、「海部先生の書の魅力について」と題し、本会名誉顧問（愛知芸術文化センター総長・前愛知県知事）



団体署名実施協力中
つなごう日本の書道文化
ユネスコの無形文化遺産に

目次

- 1 理事長あいさつ
- 2 令和三年度第四回理事会開催・第一回評議員会開催
- 3 海部俊樹名誉会長ご逝去
- 4 第七十二回記念中日書きぞめ展
- 5 令和四年度行事予定表「四月～九月」
- 6 第七十一回中日書道展日程表
- 7 令和三年度第四回理事会内容（抜粋）
- 14 第三十八回読売書法展 当審査員
- 15 第七十三回毎日書道展
- 16 第八回日展名古屋屋展入賞者賞
- 17 第七十二回中日書きぞめ展授賞の喜び／賞状授与
- 18 第七十二回中日書きぞめ展・受賞者支部だより

令和三年度 第四回理事会

令和三年度第四回理事会は、新型コロナウイルス感染症拡大、まん延防止等重点措置のため、理事会の決議の目的である事項について、内容を示す提案書を発し、当該提案につき全員から書面による同意の意思表示を得ましたので、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第九十六条（定款第三十条）に基づく理事会決議の省略の方法により、当該提案を承認可決する旨の理事会の決議があったものとみなされました。

- 第一号議案 令和四年度事業計画（案）に関する件
- 第二号議案 令和四年度予算（案）に関する件
- 第三号議案 評議員の承認に関する件
- 第四号議案 正会員の承認に関する件
- 第五号議案 審査会員の承認に関する件
- 第六号議案 名誉顧問の選任に関する件

内容の詳細は P 7 ～ 13 に記載

令和三年度 評議員会・講演会・顕彰イベント

令和三年度評議員会・顕彰・講演会は、新型コロナウイルス感染症拡大、まん延防止等重点措置のため、開催を見合わせていただくことになりました。また、同日に実施していました祝賀懇談会は中止にさせていただきます。

なお、評議員会資料また顕彰者の記念品は送付させていただきました。誠に申し訳ありませんが、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

名誉会長海部俊樹先生を偲んで

海部先生の書の魅力について



長年にわたり中部日本書道会の会長および名誉会長として活躍された海部俊樹先生が、ついに天寿を全うされ長逝されました。まことに痛惜の念に堪えず、今もなお深い悲しみの中にあります。

海部先生との思い出には尽きることはありませんが、生前先生は中日書道会のことをとても大事にしておられ、またご自身でもよく書作に親しんでおられましたので、ここでは



誠心

いずれも永い政治生活の中で、特に好んで揮毫しておられた書字ばかりといえます。いまあらためてこれらを眺めてみますと、いつも颯爽としておられた在りし日の先生の姿が鮮やかに甦ってまいります。書というのは、過ぎ去った日々を呼び戻してく

先生が揮毫されてきた「書」について振り返り、いまは亡き名誉会長を偲ぶよすがにしたいと思います。本会報には、これまで海部先生が揮毫されてきた色紙や扁額などを何点か掲げさせていただきます。い



雲盡千峰高



希望

れる力を持つているようです。私は想像しているのですが、先生はこれらの書を心底楽しんで書いておられたにちがいないと思っています。勢いのある伸びやかな字形や書体から、そんな先生の気持ち伝わってきます。かつて海部先生の秘書を務めていた長坂康正代議士は、海部先生はお忙しい政務の合間、議員宿舎にこもり、多くの人から頼まれたたくさんの書を、それこそ汗



和魂



活龍不滯水



山光無古今



有志放光

だくになりながら揮毫されていたと、私に語ってくれたことがありました。そういえば先生は、書を頼まれてお断りをされる姿を見たことがなく、いつも気軽に依頼に応じていました。私も何かご無理を言ったことがありますので、そのことをよく知っています。きっと海部先生にとって、どれほど忙しい時でも、筆をとり真っ白な紙面に向って書を制作することは、気の安まることなの

名誉顧問 神田真秋



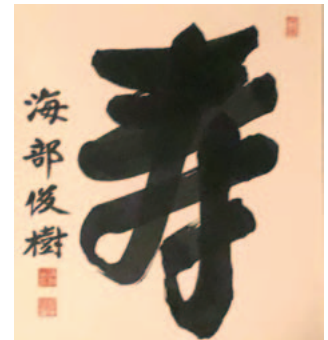
天無極



向上無限

い多忙な政務からしばし離れ、好きなことに没頭できる貴重な時間ではなかったのかと、そんなふうには振り返っています。

私は若かった時からずっと、たつぷり墨を含ませた極太の筆から生み出される迫力ある先生の書に圧倒されてきたのですが、それだけではなく、先生の書にはおおよそ技巧を追われるといった作為が感じられず、あたかも書く人の誠実な心がそのまま伝わってくる、無欲でかつ分かりやすさもまた大きな魅力でした。清々しい気持ちにさせさせてくれます。まぎれもなく政治家海部俊樹という人格がそ



壽

のまま紙面に表れた気持ちのいい書と言えるのではないかと思います。

黙って見ているだけで言葉にならない何か伝わってくる。はたして政治家の書というものは、そのようなものなのかもしれませぬ。政治家の書から垣間見えてくるのは、その人の生きざまそのものだとすれば、海部先生の書には、真つすぐで、誠実で、真摯な生き方がそのまま書に表れていると考えています。

これらの書は、先生への感謝の気持ちとともに、これからいつまでも私の心の中で生き続けることと思っています。

ここに謹んで、海部俊樹先生に哀悼の誠をささげ、安らかなご冥福をお祈り申し上げます。

(愛知芸術文化センター総長・

前愛知県知事 神田真秋)



愛知県・江蘇省友好県省締結20周年記念・法人認可20周年記念(社)中部日本書道会代表作家展開催の折、江蘇省林散之記念館でのご揮毫

ありし日の海部名誉会長



祝賀懇親会ご挨拶風景



樽本樹邨副会長(当時) 藝術院賞ご受賞への記念品授与

第72回 中日書きぞめ展

出品点数 13,400点

第七十二回中日書きぞめ展を終えて

第一教育部長 武内峰敏

令和四年三月十二日（土）、十三日（日）、ナディアパーク二階アトリウム（矢場町）にて中日書きぞめ展を開催いたしました。本年は、総出品点数一三、四〇〇点の中から、厳正な審査により決定された文部科学大臣賞から奨励賞までの一、一六二点を展示しました。二日間で五千人に迫る来場者があり、展示のパネルも前回から変わり整然と美しい陳列も喜んでいただけました。

会場では、「高校生が書いたとは、すごいね。」「素敵な作品ばかりで驚きました。」等嬉しいお言葉が聞かれました。また、「手書き文字年賀状コンクール」のコーナーでは、「今度は、どんな風にしようか。」「来年の干支は、何かな。」会話が弾んでいました。

そして、今回も六月の中日書道展に中日書きぞめ展上位六十四名の作品を陳列して、学生パワーを応援いたします。

最後になりましたが、休日にも関わらず多くの協賛会員の皆様に陳列撤去をお手伝いいただきお礼申し上げます。



令和4年(2022)度 中部日本書道会 行事予定表「4月～9月」

※実施予定日が決まっている行事を掲載しました。
※行事が変更になる場合がありますので、事前の案内でご確認ください。

月	日	曜	本 部			支 部		
			[支部展・支部集会・交流会・講演会・研修会・学生(学童)書展]					
4月	20	水	中日展書類搬入(本部)					
	28	木	中日会報204号発送(予定)					
5月	12	木	中日展裏打ち作品搬入(電気文化会館)					
	13	金	中日展二科審査(電気文化会館)					
	14	土	中日展一科審査(電気文化会館)	※部により14日に一科・二科の審査を実施				
	15	日	中日展特別賞選考(電気文化会館)	中日展裏打ち作品搬出(電気文化会館)				
	29	日					北勢支部講習会(四日市市文化会館)	
6月	13	月	中日展作品搬入・陳列(名古屋市民ギャラリー)					
	14	火	中日展無鑑査(名古屋市民ギャラリー)	中日展作品搬入・陳列(愛知県美術館)				
	15	水	〃	中日展(愛知県美術館)	中日展一科作品搬入・陳列(名古屋市博物館)			
	16	木	〃	〃	中日展一科(名古屋市博物館)			
	17	金	〃	〃	〃			
	18	土	〃	〃	〃			
	19	日	〃(作品搬出)	〃(作品搬出①)	〃		中日展授賞式・総会・祝賀会(予定)(名古屋観光ホテル)	
	20	月			中日展一科搬出、二科搬入・陳列(名古屋市博物館)			
	21	火		(作品搬出②)	中日展二科(名古屋市博物館)			
	26	日			(作品搬出)			
7月	5	火					第45回東三河支部展(豊川桜ヶ丘ミュージアム)	
	6	水					〃	
	7	木					〃	
	8	金					〃	西三河支部第55回記念学生書道展(岡崎市美術館)
	9	土					〃	東三河支部支部集会・講演会(ロワジュールホテル豊橋)
	10	日					〃	〃
	15	金					第35回北勢支部展(四日市市文化会館)	
	16	土					〃	
	17	日					〃	北勢支部講演会(四日市市文化会館)
	29	金					第36回濃飛支部展(恵那市文化センター)	
30	土					〃		
31	日					〃	濃飛支部支部集会・講演会(恵那市文化センター)・交流会	
8月	28	日	中日会報205号発送(予定)					
9月	18	日					岐阜支部設立30周年記念事業	
	24	土					第56回半田支部展(半田市福祉文化会館)	
	25	日					〃	半田支部第7回公開書道研修会(半田市福祉文化会館)

第七十一回 中日書道展 日程表

二月 二十日	日	書類発送	中部日本書道会本部	午後一時～午後五時
四月 十五日	金	書類 (各取扱店の締切)		
四月 二十日	水	書類搬入 (取扱店) 本部へ	中部日本書道会本部	受付 午後一時～三時 作業 午後四時まで
電気文化会館 東・西ギャラリー・イベントホール 五階				
五月 十二日	木	依嘱・無鑑査・一科・二科裏打ち作品搬入		午後一時～午後五時
十三日	金	※1 部により二科・一科鑑査の日時に違いがあります。表末を確認下さい。		
十四日	土	特別賞選考 (依嘱・無鑑査)		午前九時半～午後三時
十五日	日	裏打ち作品搬出		午後三時～午後五時
愛知芸術文化センター 県美ギャラリー 八階				
六月 十四日	火	審査顧問・特別出品・一科審査会員・二科審査会員・依嘱 無鑑査 (第一～五部受賞作品) 作品搬入・陳列 特別展観「書の源流」―拓本に見るその姿― ※2・3・4		搬入 午前十時～午後五時 (主任以上) 陳列 午後一時～午後五時
十五日	水	〃		午前十時～午後六時
十六日	木	〃		午前十時～午後六時
十七日	金	〃		午前十時～午後六時
十八日	土	〃		午前十時～午後六時
十九日	日	〃		午前十時～午後四時 午後四時～午後六時
二十一日	火	〃		搬出 午前九時半～正午
名古屋市民ギャラリー栄 八階				
六月 十三日	月	無鑑査作品搬入・陳列 第一～五部 (受賞作品を除く)		搬入 午後一時～午後五時 陳列
十四日	火	無鑑査作品展示		午前十時～午後六時
十五日	水	〃		午前十時～午後六時
十六日	木	〃		午前十時～午後六時
十七日	金	〃		午前十時～午後六時
十八日	土	〃		午前十時～午後六時
十九日	日	〃		搬出 午後四時半～午後六時 ※ただし部屋からの搬出は午後五時～

名古屋市博物館 三階

六月 十五日	水	一科作品搬入・陳列	搬入 午後二時～午後五時 陳列
十六日	木	一科展覧会	午前十時～午後五時
十七日	金	〃	午前十時～午後五時
十八日	土	〃	午前十時～午後五時
十九日	日	〃	午前十時～午後五時
二十日	月	一科作品搬出・二科搬入 二科陳列	一科搬出 午前九時半～正午 二科搬入 午後二時～午後五時
二十一日	火	二科展覧会	二科陳列 午後二時～午後五時
二十二日	水	〃	午前十時～午後五時
二十三日	木	〃	午前十時～午後五時
二十四日	金	〃	午前十時～午後五時
二十五日	土	〃	午前十時～午後五時
二十六日	日	〃	二科搬出 午後三時～午後五時

- ※1 一部 (漢字) 二科鑑査は五月十三日 (金) 午後一時～・一科鑑査は五月十四日 (土) 午後一時～
二部 (かな) 四部 (小字数) 五部 (篆刻・刻字) は二科鑑査を五月十四日 (土) 午後一時～・
一科鑑査を五月十四日 (土) 午後三時～
三部 (近代詩) は二科鑑査を五月十四日 (土) 午前九時三十分～・一科鑑査を五月十四日 (土)
午後一時三十分～
- ※2 特別展観「書の源流」―拓本に見るその姿―
- ※3 第七十二回中日書きぞめ展上位作品 (一〇四点予定) を展示
- ※4 無鑑査の第一部受賞 (中日賞・桜花賞) 作品は、愛知県美術館ギャラリーに展示します。

■御長寿作品 (米寿) (昭和八年四月二日～昭和九年四月一日生まれの方) (令和三年四月二日～令和四年四月一日に八十八才になられた方) の展示について―米寿の役員の作品と米寿の一科・二科の作品は愛知県美術館ギャラリー8Fに展示します。又、二科の作品は名古屋市博物館二科の会期にて再度展示します。

- ◆授賞式 六月十九日 (日) 名古屋観光ホテル (予定)
- ◆祝賀会 六月十九日 (日) 名古屋観光ホテル六時～ (予定)

令和三年度 公益社団法人 中部日本書道会 第四回理事会の報告 (より 理事会議案書 より 抜粋)

令和三年度 公益社団法人 中部日本書道会 第四回理事会 次 第

- 第一号議案 令和四年度事業計画(案)に関する件
- 第二号議案 令和四年度予算(案)に関する件
- (1) 収支予算書
- (2) 正味財産増減予算書
- (3) 事業区分後の正味財産増減予算書
- (4) 資金調達及び設備投資の見込みについて
- 第三号議案 評議員の承認に関する件
- 第四号議案 正会員の承認に関する件
- 第五号議案 審査会員の承認に関する件
- 第六号議案 名誉顧問の選任に関する件

第一号議案 令和四年度事業計画(案)に 関する件

I 書道普及振興事業(公益目的事業)

一 展覧会等の事業

本会は、出版作品の審査を行う公募展である中日書道展を企画運営することによって、従来より、書道文化の普及発展に寄与していることは周知されていることである。加えて、初心者、若年層および地域の書道愛好家のために、これにふさわしい書道展の開催も必要不可欠である。そのため本会では、中日書きぞめ展、一宮支部学生展、西三河支部学生展、東三河こども書道展を出版作品審査を行う公募展として開催する。

また、書道芸術の発展のためには、書の技量の上達だけでなく、書に関する幅広い教養の習得も必要である。このため、本会では、書道教育研修会、公開講座、講演会、研修会を実施する。

- (1) 中部日本書道会第七一回中日書道展 特別展観「書の源流」―拓本に見るその姿―
会期 令和四年六月十四日～六月二十六日

会場 愛知県芸術文化センター

愛知県美術館ギャラリー

名古屋市民ギャラリー栄

名古屋博物館

- (2) 第七三回中日書きぞめ展
会期 令和五年三月十一日～十二日
会場 ナディアパーク アトリウム

中日支部学生書道展

・第五十回記念一宮支部学生書道展
会期 令和四年十一月二十六日～二十七日
会場 一宮スポーツ文化センター

・第五十五回西三河学生書道展
会期 令和四年七月八日～十日
会場 岡崎市美術館

・第二回東三河こども書道展
会期 令和五年一月

会場 豊橋市こども未来館(ここに)

第三四回書道教育研修会
日時 令和四年十月十六日

会場 名古屋国際センター

第二十六回公開講座
日時 令和四年十一月十三日

会場 電気文化会館イベントホール

講演会
本部(令和五年二月)、一宮(令和五年一月)、
半田(令和五年三月)、東三河(令和四年七月)、
西三河(令和五年二月)、濃飛(令和四年七月)、
北勢(令和四年七月)、中南勢(令和四年十一月)、
岐阜(令和四年十一月)

研修会・講習会
半田(令和四年十一月)

東三河(令和四年十月)

支部公開講座
半田 令和四年九月

会場 半田市福祉文化会館

第五回手書き文字年賀状コンクール
(令和五年一月)

II 福祉事業(公益目的事業)

本会では、従来より社会福祉法人への募金による社会事業への協力奉仕を行っている。引き続き本年度も、会員のうち有志から募金を募り、社会福祉法人中日新聞社会事業団および社会福祉法人東海テレビ福祉文化事業団に寄付をおこなう。

- (1) 令和四年チャリティー愛の募金
期間 令和四年十月～十二月

III その他の事業(相互扶助等事業)

本会は、出版作品の審査を行わない公募展及び会員向け書道展として、壽書展及び各支部において支部展・支部選抜展を行う。

また、会員を対象として、本部講演会を開催して、会員の資質向上に寄与することとする。

支部においては、会員向け講習会・講演会を行い支部会員の資質向上に努めている。このほか、本会では会員の研鑽・資質向上のため、本部および各支部において記念事業、研究会、研修会、研修旅行を行う。

会員の福利厚生のために、必要とする事業を行う。

- (1) 出版作品の審査を行わない公募展及び会員向け展覧会
- ① 第三回書の匠展・第三十一回壽書展
会期 令和四年十一月九日～十一月十三日
会場 電気文化会館東・西ギャラリー
- ② 支部展・支部選抜展
・第六十七回一宮支部展
会期 令和四年十一月二十六日～二十七日
会場 一宮スポーツ文化センター
- ・第五十六回半田支部展
会期 令和四年九月
- ・第四十五回東三河支部展
会期 令和四年七月五日～十日
会場 豊川桜ヶ丘ミュージアム
- ・第四十六回東三河支部選抜展
会期 令和五年二月
- ・第三十六回濃飛支部展

・第五十五回西三河支部会員展
会期 令和五年二月十五日～一九日
会場 岡崎市美術館

・第四十五回東三河支部展
会期 令和四年七月五日～十日
会場 豊川桜ヶ丘ミュージアム

・第四十六回東三河支部選抜展
会期 令和五年二月

・第三十六回濃飛支部展

会期 令和四年七月二十九日～三十一日

会場 恵那市文化センター

・第三十五回北勢支部展
会期 令和四年七月十五日～十七日

会場 四日市市文化会館

・第三十五回中南勢支部展
会期 令和四年十一月九日～十三日

会場 三重県立美術館県民ギャラリー

・第二十七回岐阜支部展
会期 令和四年九月九日～十一日

会場 岐阜市市民会館

講習会
北勢(令和五年二月)

研究会
西三河(令和五年三月)

研修会
一宮(令和四年十月)、西三河(令和四年十月)、
濃飛(令和四年十一月)、北勢(令和四年十一月)、
中南勢(令和四年十月)、岐阜(令和四年十一月)

福利厚生事業
① 会員交流ボウリング大会
日時 令和四年十二月

会場 星ヶ丘ボウル

② 熟総合保険

③ 書道に関する調査研究および発表

④ 書道教育者の推薦書および看板の交付

⑤ 外国研修旅行補助

⑥ 組織拡大事業
・会員章(門章・襟章)の交付

⑦ 広報活動事業
・中日会報・支部会報の発行
・ホームページによる情報提供

⑧ 資料文献収集保存事業

⑨ 書道功労者等顕彰事業

⑩ その他 各種行事

IV 管理業務
本会の事業遂行のため以下の会議を行う。

一 総会 一回(令和四年六月)

二 理事会三回(令和四年四月、
令和四年五月、令和五年二月)

三 評議員会 一回(令和五年二月)

四 企画委員会十二回(各月)

第2号議案 令和4年度予算(案)に関する件 (1) 収支予算書

令和4年度 収支予算書(案) 自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日 公益社団法人 中 部 日 本 書 道 会 備 考

科 目	令和4年度 予算額 (A) 円	令和3年度 予算額 (B) 円	増 減 (A) - (B) 円	説 明
1 事業活動収支の部				
1-1 事業活動収入				
1-1-1 基本財産運用収入	600	600	0	3,000万×0.002%
1-1-2 特定資産運用収入	245,000	245,000	0	定期利息、国債利息
1-1-3 理事監事受取会費収入	462,000	462,000	0	理事監事14,000円
1-1-4 評議員受取会費収入	13,236,000	14,004,000	△768,000	評議員参与12,000円
1-1-5 正会員受取会費収入	16,848,000	17,920,000	△1,072,000	正会員8,000円
1-1-6 準会員受取会費収入	1,790,000	1,905,000	△115,000	協賛会員5,000円
1-1-7 会費収入	1,000,000	1,000,000	0	協賛会員25,000円
1-1-8 雑収入	333,360,000	35,291,000	△1,955,000	6,000円×230点
1-1-9 雑収入	1,380,000	5,111,000	△3,000	支部別内訳参照
1-1-10 雑収入	4,843,000	5,111,000	△268,000	支部別内訳参照
1-1-11 雑収入	3,766,200	5,368,500	△1,602,300	支部別内訳参照
1-1-12 雑収入	250,000	300,000	△50,000	支部別内訳参照
1-1-13 雑収入	2,100,000	2,791,000	△691,000	支部別内訳参照
1-1-14 雑収入	40,000	60,000	△20,000	支部別内訳参照
1-1-15 雑収入	100,000	100,000	0	支部別内訳参照
1-1-16 雑収入	250,000	280,000	△30,000	支部別内訳参照
1-1-17 雑収入	300,000	300,000	0	支部別内訳参照
1-1-18 雑収入	160,000	200,000	△40,000	支部別内訳参照
1-1-19 雑収入	60,000	15,000	△45,000	支部別内訳参照
1-1-20 雑収入	42,362,000	43,654,000	△1,292,000	2,000円(資料代)×80名
1-1-21 雑収入	5,600,000	5,600,000	0	3,000円×20名(会員外)
1-1-22 雑収入	3,800,000	4,000,000	△200,000	中日展収入内訳参照
1-1-23 雑収入	16,600,000	4,000,000	△12,600,000	400円×約15,000点(整理費差引)
1-1-24 雑収入	2,351,000	4,000,000	△1,649,000	
1-1-25 雑収入	84,142,200	75,270,500	△8,871,700	
1-1-26 雑収入	0	0	0	
1-1-27 雑収入	0	0	0	
1-1-28 雑収入	220	230	△10	
1-1-29 雑収入	402,000	870,000	△468,000	令和3・4年度版
1-1-30 雑収入	95,000	352,000	△257,000	一宮支部
1-1-31 雑収入	3,000	9,000	△6,000	備品貸し出し
1-1-32 雑収入	500,220	1,320,230	△820,010	
1-1-33 雑収入	118,224,020	112,127,330	△6,096,690	
2 事業活動支出				
2-1 事業活動費用				
2-1-1 雑費	624,000	624,000	0	支部事業費含む
2-1-2 雑費	408,000	528,000	△120,000	各種雑費
2-1-3 雑費	1,124,000	966,000	△158,000	中日展受付等
2-1-4 雑費	6,210,000	7,670,000	△1,460,000	各種代、記念品代
2-1-5 雑費	200,500	225,500	△25,000	賞品代、記念品代
2-1-6 雑費	8,093,000	8,512,000	△419,000	事業時交通費
2-1-7 雑費	4,114,800	4,735,000	△620,200	作業時食事
2-1-8 雑費	692,000	864,000	△172,000	展覧会案内、出品票、賞状等
2-1-9 雑費	8,714,842	8,919,250	△204,408	半田支部事業光熱費
2-1-10 雑費	43,000	54,000	△11,000	
2-1-11 雑費	1,995,552	2,105,820	△110,268	
2-1-12 雑費	183,000	177,000	△6,000	
2-1-13 雑費	11,000	11,000	0	
2-1-14 雑費	5,150,000	5,337,000	△187,000	会場使用料
2-1-15 雑費	145,000	255,000	△110,000	一宮支部事業支払会費
2-1-16 雑費	380,000	380,000	0	会場設営、看板、パネル作成等
2-1-17 雑費	139,000	300,000	△161,000	愛の基金による寄託他
2-1-18 雑費	3,263,600	2,543,000	△720,600	外国研修補助
2-1-19 雑費	3,362,000	3,562,000	△200,000	
2-1-20 雑費	50,000	100,000	△50,000	
2-1-21 雑費	16,600,000	4,000,000	△12,600,000	
2-1-22 雑費	2,500,000	2,500,000	0	
2-1-23 雑費	270,000	2,680,000	△2,410,000	
2-1-24 雑費	200,000	7,509,000	△7,309,000	新聞 業界紙広告
2-1-25 雑費	386,000	398,000	△12,000	塾保険等
2-1-26 雑費	0	0	0	
2-1-27 雑費	2,213,000	3,203,000	△990,000	若年層・書きぞめ表装料ほか
2-1-28 雑費	74,551,294	66,065,570	△8,485,724	若年層・書きぞめ表装料ほか

支部別内訳	一宮	半田	西三河	東三河	濃飛	北勢	中南勢	岐阜	合 計
1 支部別内訳	10,000	5,000	15,000	5,000	0	5,000	10,000	10,000	60,000
2 理事監事会費	416,000	112,000	324,000	116,000	32,000	116,000	80,000	444,000	1,640,000
3 評議員参与会費	880,000	292,000	632,000	196,000	72,000	200,000	200,000	696,000	3,168,000
4 正会員会費	120,000	70,000	132,500	57,500	45,000	40,000	30,000	27,500	522,500
合 計	1,426,000	479,000	1,103,500	374,500	149,000	361,000	320,000	1,177,500	5,390,500

支部別内訳	一宮	半田	西三河	東三河	濃飛	北勢	中南勢	岐阜	合 計
1 支部別内訳	800,000	602,000	1,150,000	1,096,000	180,000	240,000	300,000	475,000	4,843,000
2 支部学生展収入	1,420,000	0	2,278,700	67,500	0	0	0	3,766,200	
3 支部連技展収入	0	0	0	250,000	0	0	0	250,000	
4 支部研修会収入	120,000	450,000	200,000	240,000	165,000	325,000	360,000	240,000	2,100,000
5 支部祝賀会収入	0	0	0	40,000	0	0	0	0	40,000
6 支部祝賀会収入	1,020,000	450,000	0	0	300,000	200,000	261,000	300,000	2,531,000
7 負担金収入	95,000	0	0	0	0	0	0	0	95,000
合 計	3,445,000	1,502,000	3,628,700	1,693,500	645,000	765,000	921,000	1,015,000	13,625,200

支部別内訳	一宮	半田	西三河	東三河	濃飛	北勢	中南勢	岐阜	合 計
1 講演会費	132,000	96,000	0	110,000	55,000	97,000	140,000	58,000	688,000
2 講習会費	0	124,000	0	50,000	0	60,000	0	0	234,000
3 研究会費	0	0	128,000	0	0	0	0	0	128,000
4 支部研修費	60,000	533,000	285,500	370,000	160,000	335,000	420,000	449,944	2,613,444
5 支部連技展費	0	0	120,000	0	0	0	0	0	120,000
6 支部学生展費	1,833,000	0	2,642,500	1,200,000	0	0	0	0	4,595,500
7 支部展費	330,000	544,000	1,407,000	1,072,000	180,000	187,000	230,000	484,750	4,434,750
8 色紙展費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9 普通振興事業費	350,000	0	0	0	0	0	0	0	350,000
10 周年記念事業費	0	0	0	0	0	0	0	431,000	431,000
11 支部祝賀会費	1,050,000	450,000	0	0	300,000	200,000	261,000	239,000	2,500,000
事業費計	3,755,000	1,747,000	4,463,000	1,842,000	685,000	879,000	1,051,000	1,662,694	16,094,694

支部別内訳	一宮	半田	西三河	東三河	濃飛	北勢	中南勢	岐阜	合 計
支部別内訳	1,055,000	454,000	766,500	326,000	149,000	217,000	150,000	1,009,606	4,127,106
支部事務所費	70,000	100,000	0	0	0	30,000	0	100,000	300,000
積立金	0	0	0	0	0	0	0	400,000	400,000
積立金取崩	0	0	0	0	0	0	0	0	0
支部収支差額	1,000	-320,000	-497,300	-100,000	-50,000	0	40,000	-179,800	-1,106,100

科 目	今和4年度 予算額 (A) 円	今和3年度 予算額 (B) 円	増 減 (A) - (B) 円	説 明
② 出 版	1,305,000	1,305,000	0	支店事務所費含む
1 支店事務所費	207,000	207,000	0	
2 支店事務所費	93,000	93,000	0	
3 支店事務所費	62,000	62,000	0	
4 支店事務所費	207,000	207,000	0	
5 支店事務所費	5,486,000	900,000	80,000	職員給与・賞与
6 支店事務所費	1,080,000	486,000	180,000	臨時職員
7 支店事務所費	486,000	35,000	0	派遣社員
8 支店事務所費	35,000	35,000	0	
9 支店事務所費	1,950,000	1,950,000	0	税理士・司法書士・労務士
10 支店事務所費	80,000	80,000	0	支部賞品代、記念品代
11 支店事務所費	763,000	713,000	△ 50,000	慶弔等
12 支店事務所費	2,851,000	3,359,000	△ 708,000	職員交通費
13 支店事務所費	415,000	544,000	△ 129,000	タクシー 駐車料
14 支店事務所費	737,000	658,730	△ 78,270	
15 支店事務所費	6,784,206	8,251,000	△ 1,466,794	本報・議案書ほか
16 支店事務所費	345,000	345,000	0	本部事務所電気、冷暖房
17 支店事務所費	5,107,600	5,292,000	△ 184,400	電話・郵送料等
18 支店事務所費	6,844,500	4,844,500	2,000,000	振込料
19 支店事務所費	8,000,000	8,000,000	0	本部・支店事務所
20 支店事務所費	1,430,000	1,430,000	0	会議室、印刷機り
21 支店事務所費	1,543,000	1,000,000	△ 543,000	一々ほか
22 支店事務所費	100,000	100,000	0	会議室、印刷機り
23 支店事務所費	25,000	25,000	0	法人市県民税
24 支店事務所費	367,000	367,000	0	諸会費
25 支店事務所費	55,000	55,000	0	諸会費
26 支店事務所費	150,000	150,000	0	総会等看板
27 支店事務所費	150,000	150,000	0	全日本書道連盟助けあい
28 支店事務所費	150,000	150,000	0	
29 支店事務所費	900,000	1,000,000	△ 100,000	職員杜会保険、雇用保険
30 支店事務所費	336,000	797,400	△ 461,400	新聞広告
31 支店事務所費	864,400	150,000	△ 714,400	理事會 支部幹部會
32 支店事務所費	40,000	40,000	0	
33 支店事務所費	0	0	0	
34 支店事務所費	41,263,706	43,213,630	△ 1,949,924	管理費目別内訳参照
35 支店事務所費	1,581,500	1,092,279,200	△ 6,355,800	
36 支店事務所費	2,409,020	2,848,130	△ 439,110	
II 投資活動収入の部				
1 投資活動収入	0	0	0	資産取崩
① 特定資産取崩	0	0	0	
1 特定資産取崩	0	0	0	
2 特定資産取崩	0	0	0	
3 特定資産取崩	0	0	0	
4 特定資産取崩	0	0	0	
5 特定資産取崩	0	0	0	
6 特定資産取崩	0	0	0	
2 投資活動収入	400,000	500,000	△ 500,000	令和3・4年度版
② 特定資産取崩	400,000	500,000	△ 100,000	資産積立
1 特定資産取崩	144,000	144,000	0	
2 特定資産取崩	50,000	50,000	0	
3 特定資産取崩	400,000	400,000	0	2024年(令和6年)
4 特定資産取崩	500,000	0	△ 500,000	令和5・6年度版
5 特定資産取崩	300,000	0	△ 300,000	一宮・半田・北勢・岐阜
6 特定資産取崩	1,394,000	1,494,000	△ 100,000	
III 財務活動収入の部				
1 財務活動収入	0	0	0	借入金
2 財務活動収入	0	0	0	返済
III 財務活動収入の部	0	0	0	
投資活動収入の部	1,394,000	1,994,000	△ 600,000	
資産活動収入の部	-994,000	-1,494,000	△ 500,000	
投資活動収入の部	500,000	500,000	0	
資産活動収入の部	915,020	854,130	△ 60,890	
備 蓄 収 入	6,375,500	5,521,370	△ 854,130	
前期繰越収支差額	7,290,520	6,375,500	△ 915,020	
当期繰越収支差額				

事業別内訳	今和4年度予算額(A)	今和3年度予算額(B)	増 減	説 明
1 講演会費	838,000	807,000	△ 31,000	支部は支部別内訳参照
2 支部講演会費	1,394,000	1,455,000	△ 61,000	
3 支部講演会費	234,000	192,000	42,000	支部別内訳参照
4 支部講演会費	128,000	144,200	△ 16,200	支部別内訳参照
5 支部講演会費	2,613,444	3,224,220	△ 610,776	支部別内訳参照
6 支部講演会費	120,000	182,000	△ 62,000	支部別内訳参照
7 支部講演会費	4,595,500	5,779,500	△ 1,184,000	支部別内訳参照
8 支部講演会費	4,434,750	4,479,650	△ 44,900	支部別内訳参照
9 支部講演会費	0	1,420,000	△ 1,420,000	支部別内訳参照
10 支部講演会費	350,000	2,130,000	△ 1,780,000	一宮
11 支部講演会費	440,600	781,000	△ 340,400	
12 支部講演会費	50,000	100,000	△ 50,000	
13 支部講演会費	230,000	230,000	0	
14 支部講演会費	100,000	100,000	0	教室看板
15 支部講演会費	244,000	254,000	△ 10,000	
16 支部講演会費	0	0	0	
17 支部講演会費	1,846,000	1,846,000	0	企画委員会
18 支部講演会費	431,000	431,000	0	岐阜支部
19 支部講演会費	45,000	45,000	0	サ・下運営
20 支部講演会費	8,000	8,000	0	
21 支部講演会費	63,000	63,000	0	
22 支部講演会費	450,000	450,000	0	
23 支部講演会費	27,500,000	27,500,000	0	
24 支部講演会費	5,775,000	5,775,000	0	
25 支部講演会費	1,400,000	1,000,000	400,000	
26 支部講演会費	3,402,000	3,598,000	△ 196,000	
27 支部講演会費	340,000	340,000	0	
28 支部講演会費	16,600,000	4,000,000	△ 12,600,000	
29 支部講演会費	2,500,000	2,500,000	0	支部別内訳参照
合 計	74,551,294	66,065,570	8,485,724	
管理費目別内訳				
1 会議費	2,978,000	3,913,000	△ 935,000	本部
(1) 総会	1,161,000	1,911,000	△ 750,000	
(2) 理事會	597,000	597,000	0	
(3) 理事・評議員會	1,220,000	1,340,000	△ 120,000	
(4) 役員選考委員会	0	65,000	△ 65,000	本部
2 事務局費	29,183,000	29,019,000	164,000	支部別一覽参照
3 支部事務局費	4,127,106	4,025,630	101,476	供花・見舞金等
4 慶弔費	310,000	310,000	0	年4回発行
5 会報費	4,557,000	4,557,000	0	令和5・6年度版
6 名簿費	108,600	1,389,000	△ 1,280,400	
合 計	41,263,706	43,213,630	△ 1,949,924	
事業及び管理合計	115,815,000	109,279,200	6,535,800	

備 考

(2) 正味財産増減予算書

令和4年度 正味財産増減予算書 (案)

自 令和4年4月1日
至 令和5年3月31日

科 目	令和4年度予算額 (A)		令和3年度予算額 (B)		増減 (A) - (B)	説 明
	円		円			
1 一般正味財産増減の部						
1. 経常増減の部						
(1) 経常収益						
① 基本財産運用利益	600	600	0	0		
② 特定資産運用利益	245,000	245,000	0	0		
③ 受取利息	462,000	462,000	0	0		
1 理事監事受取会費	13,236,000	14,004,000	△ 768,000			
2 評議員受取会費	16,848,000	17,920,000	△ 1,072,000			
3 正会議員受取会費	1,790,000	1,905,000	△ 115,000			
4 協賛会費	1,000,000	1,000,000	0			
5 受取会費	33,336,000	35,291,000	△ 1,955,000			
④ 事業収益	1,380,000	1,350,000	30,000			
1 寿・匠部展覧会	484,300	5,111,000	△ 2,868,000			
2 支部展覧会	3,766,200	5,368,500	△ 1,602,300			
3 支部展覧会	250,000	300,000	△ 50,000			
4 支部講習会	2,100,000	2,751,000	△ 651,000			
5 支部講習会	40,000	60,000	△ 20,000			
6 書道教育者推薦教室看料収入	100,000	100,000	0			
7 塾総合推進教室看料収入	250,000	260,000	△ 10,000			
8 塾総合推進教室看料収入	300,000	0	300,000			
9 公務員講座収入	160,000	200,000	△ 40,000			
10 公道教育研修参加料収入	60,000	15,000	45,000			
11 周年記念事業収入	0	0	0			
12 中日書き募り展覧会	42,362,000	43,654,000	△ 1,292,000			
13 愛の部展覧会	5,600,000	5,600,000	0			
14 本部展覧会	3,800,000	4,000,000	△ 200,000			
15 本部展覧会	16,600,000	4,000,000	△ 12,600,000			
16 本部展覧会	2,531,000	2,501,000	30,000			
17 支事業寄附金	84,142,200	75,270,500	8,871,700			
⑤ 受取利息	0	0	0			
⑥ 雑収入	220	230	△ 10			
1 普通預金受取利息	0	870,000	△ 870,000			
2 宛名簿広告知料収入	402,000	352,000	50,000			
3 宛名簿発行手数料収入	95,000	95,000	0			
4 雑収入	3,000	3,000	0			
5 雑収入	500,220	1,320,230	△ 820,010			
経常増減	118,224,020	112,127,330	△ 6,096,690			
(2) 経常費用	1,305,000	1,305,000	0			
1 理事長報酬	207,000	207,000	0			
2 名誉顧問	93,000	93,000	0			
3 名誉顧問	62,000	62,000	0			
4 学術顧問	207,000	207,000	0			

6 企画委員を兼務する評議員報酬	624,000	624,000	0		
7 企画委員を兼務する職員手当	5,566,000	5,486,000	80,000		
8 退職給付	0	0	0		
9 臨時職員賃金	1,488,000	1,428,000	60,000		
10 臨時職員賃金	486,000	486,000	0		
11 福利厚生費	35,000	35,000	0		
12 報奨金	3,074,000	2,916,000	158,000		
13 報奨金	6,265,000	7,750,000	△ 1,485,000		
14 報奨金	963,500	938,500	25,000		
15 旅費	10,944,000	12,071,000	△ 1,127,000		
16 旅費	4,529,800	5,279,200	△ 749,200		
17 印刷費	1,429,200	1,522,730	△ 93,730		
18 印刷費	15,499,048	17,170,250	△ 1,671,202		
19 印刷費	388,000	399,000	△ 11,000		
20 通信費	7,103,152	7,397,820	△ 294,668		
21 事務用品	867,500	661,500	206,000		
22 事務用品	8,011,000	8,011,000	0		
23 事務用品	6,693,000	6,767,000	△ 74,000		
24 消耗品	245,000	355,000	△ 110,000		
25 消耗品	25,000	25,000	0		
26 委託費	717,000	747,000	△ 30,000		
27 委託費	194,000	550,000	△ 356,000		
28 委託費	3,413,600	2,693,000	720,600		
29 委託費	3,512,000	3,712,000	△ 200,000		
30 補助費	50,000	100,000	△ 50,000		
31 補助費	900,000	1,000,000	△ 100,000		
32 雑費	0	0	0		
33 支部演習会	16,600,000	4,000,000	12,600,000		
34 支部演習会	2,500,000	2,680,000	△ 180,000		
35 支部演習会	270,000	0	270,000		
36 支部演習会	7,845,000	7,845,000	0		
37 支部演習会	1,064,400	1,004,400	60,000		
38 支部演習会	386,000	398,000	△ 12,000		
39 新聞印刷費	40,000	150,000	△ 110,000		
40 新聞印刷費	2,213,000	3,203,000	△ 990,000		
41 減価償却費	0	0	0		
経常増減	115,815,000	109,279,200	△ 6,535,800		
(1) 経常外増減の部	2,409,020	2,848,130	△ 439,110		
(2) 経常外費用	0	0	0		
経常増減	0	0	0		
当期一般正味財産増減額	2,409,020	2,848,130	△ 439,110		
前期一般正味財産増減額	110,783,093	112,997,867	△ 2,214,774		
一般正味財産期末残高	113,192,113	115,845,997	△ 2,653,884		
II 指定正味財産増減の部					
当期指定正味財産増減額	0	0	0		
指定正味財産期末残高	0	0	0		
III 正味財産期末残高	113,192,113	115,845,997	△ 2,653,884		

令和3年3月31日残高

(3) 事業区分後の正味財産増減予算書

正味財産増減予算書

(損益計算ベースかつ事業別に区分したもので)
令和4年4月1日から令和5年3月31日まで
公益社団法人 中部日本書道会

(単位 円)

Table with columns: 科目, 公益目的事業会計 (公1, 公2), その他事業会計 (他1), 法人会計, 合計, 備考. Rows include items like 一般正味財産増減の部, 基本財産受取利息, 特定資産運用益, etc.

Table with columns: 印刷製本費, 光熱水費, 通信運搬費, etc. Includes a section for 当期経常増減の部 and 経常外増減の部.

(4) 資金調達及び設備投資の見込みについて

Table with columns: 事業年度, 自, 至, 法人コード, 公益社団法人中部日本書道会.

(1) 資金調達の見込みについて

Table with columns: 借入れの予定, 借入先, 金額, 使途.

(2) 設備投資の見込みについて

Table with columns: 設備投資の予定, 設備投資の内容, 支出又は収入の予定額, 資金調達方法, 又は取得資金の使途.

令和三年度 第四回理事会 承認事項 新審査会員・新正会員の承認

第三号議案

評議員の承認に関する件

公益社団法人中部日本書道会運営規定第五条の二により下記の者に評議員としての承認を求める。この委嘱は令和四年四月一日付けとする。

●評議員

第一部(五十九名)

- 飯田 泰郷 市橋 文親
伊藤 静香 井上 紅鳳
今村 寿鴻 内川 昌子
内出 紅華 江口 秀華
大野 蘭香 岡田 愛子
長田 裕華 小野田 晃志
加藤 杏華 加藤 彩心
加藤 若苑 加藤 智加
加藤 豊盛 川端 柳園
神田 醉月 倉知 葉舟
小塚 芳黎 近藤 星崖
酒井 悠泉 桜井 光雲
佐藤 琉華 篠田 瑞芳
須田 静波 田垣 秀條
高桑 愛降 田中 春華
坪井 英哲 寺岡 春蘭
寺田 祐峰 寺西 智
藤堂 弘風 豊嶋 青岑
中川 瑞風 中山 芳泉
西田 康華 根津 郷巴
根谷 捷子 野村 怜光
服部 瑞花 花井 蘭徑
浜島 緑風 早川 緑園
林 由美 深津 陽雪
深谷 紅蘭 福田 博芳
堀田 智洋 森川 秋花
村田 華雪 安田 紫舟
森山 溪花 吉田 彩霞
山本 小谿 安田 聖汀
渡邊 香蘭 吉田 聖汀

第二部(十二名)

- 板倉 恵子 上野 明美
加藤 玉華 加藤 づみ
佐藤 悦子 鈴木 裕子
高木 愛子 田中 江雨
西尾 雅子 福井 芳子
古山 玉扇 水野 佑華
第三部(十五名)
朝井 美玲 今井 春陽
尾崎 虹葉 桜井 聖子
塚原 清雪 戸田 華水
長谷川 結 樋口 千修
平井 華泉 平田 光蘭
福井 笙燿 藤井 和彦
堀田 孝子 三輪 蘇生
森田 葉香 三輪 蘇生

第四部(四名)

- 片桐千賀子 服部 光峰
宮島みどり 吉兼 理樹
第五部(四名)
井上 貴文 平 富耀
高島 濤翠 徳倉 禾風

第四号議案

正会員の承認に関する件

公益社団法人中部日本書道会定款第五条一号により、下記の者を正会員としての承認を求める。この承認は令和四年四月一日付けとする。

●第一部(一一三名)

- 浅井 孝行 飯田 華翠
飯田 紫泉 生田 大雅
石寄 桜花 伊藤 圭華
伊藤 紫暁 伊藤 松園
伊藤 祥葉 井上 美雪
今井 千寿 岩田 彩七
岩田 祥風 岩田 桃雨
上原 清江 植村 静露
牛田 光星 江端 穂香

- 大澤 浩子 大島 海舟
大林 霞風 岡崎 真理
小川 敦子 小川 香風
小田 哲廣 加古 寅起
梶原 彩瑤 加藤 華容
金屋 香穂 上ヶ平 香川
柄澤 信一 河合 恵萌
喜多村 秋香 木下 知美
木村 香葉 楠森 玄峰
窪田 有桜 黄 容瑠
河野 東光 児玉 峰月
後藤 紅霞 坂元 翠萌
坂内 星江 酒向 星恵
佐藤 清峯 柴田 智美
島崎 梨沙 清水 雅子
杉浦 朱音 杉浦 直照
杉本 和代 杉山 清香
鈴木 如扇 住田 花里
高森 良鶯 武田 芳雨
竹村 英恵 武田 春雪
館 鈴水 田中 美景
田中 昌子 棚橋 紅蘭
田中 鈴子 田原 清明
谷口 鈴香 土屋 美加
玉置奈緒子 外山 優奈
中山 春光 中川 汀葉
長瀬 輝雪 中出 彩乃
中出 紅和 中村 彩花
蛭川 紫石 丹羽 紅翠
丹羽 白桜 丹羽 真梨華
八田 眞華 野田 梨華
畑佐 昂佳 八田 眞華
服部 紫翠 林 律翠
林 花恋 廣川 蒼岳
日高 綺音 廣川 律翠
深谷 祐加里 舟橋 仁雅
藤戸 恒成 松浦 優典
堀 清順 水谷 華峰
松原 信子 水谷 文江
村上 庸子 村瀬 徑秀

第二部(十四名)

- 稻垣流美子 江川 節子
大山 直美 鏡味 洋子
小牟禮優美英 子安 孝子
佐藤すみ子 杉浦 雅子
西山 孝子 島山美智子
深谷紀代子 藤原さと子
松田眞理子 村上 史子
第三部(三十七名)
青木 美和 今枝 瀧華
今橋 由利 大久 瑞生
小川 彩音 尾関 賀妙
尾関 麗風 小田 美祥
片山 沙弥 加藤登紀子
加藤 美香 蟹江 和江
川島 豊翠 川原 香泉
後藤 三奈 齋藤 大貴
島戸 香蘭 清水 雪華
菅原 佳月 但馬日菜子
田中 寿風 田村 華英
土屋 貞峰 寺尾あかね
長尾 有紗 中島 優
中野 神泉 成瀬 美景
野田 芳樹 古崎 碧泉
細川 厚子 水野 玉照
宮島 琴音 三輪 天音
山中 峰代 吉川 抱雲

第五号議案

審査会員の承認に関する件

公益社団法人中部日本書道会展覧会開催規定第九条の規定により、下記の者を審査会員としての委嘱の承認を求める。この承認は令和四年四月一日付けとする。

●一科審査会員

第一部(五十七名)

- 青山 高陽 浅井 徑桜
浅井 紫泉 家田 翠徑
石川 明加 伊藤 杏華
犬飼 游華 岩本 瑞華
内田 翠徑 大鐘 紫陽
太田 游山 小笠原青華
奥村 三葉 加地 孤握
神谷 緑泉 倉井 小琴
草野 慧泉 倉地 西萩
黒川 鵬霄 小池 玲翠
小林 祥鶴 近藤 晴翠
近藤 青洮 近藤 梅鶯
佐藤 水香 清水 翠芳
下村 汀柳 白井 景星
関戸 海越 説田 朱麗
千田 京華 高松 秀翠
武田 晶庭 谷 鴻風
谷口 琇苑 中村 華風
中井 港星 野村 揚月
野田 虹園 林 幸湖
波多野香葉 波多野香葉 林 幸湖
坂野 渚月 日江井芝香
広井 秀琳 藤澤 秋嶺
藤村 真徳 藤原 桃李
堀 穂慧 三代 雄峯
水田 珪華 溝口 純華
美濃羽城開 望月 希彩
森 絹泉 森本 夏溪
吉川 清軒 石川 瑞峰
足立 麗華 石川 瑞峰
石田 三喜 今枝 節峰
加藤 博子 木島 静月
小谷 春苑 佐々木宏潤

読売書法展・毎日書道展
本年度当番審査員

第三十八回 読売書法展

◇審査顧問
◇特別賞選考委員

樽本 樹邨

◇当番審査員

荒木 友梅
磯谷 凄聴
近藤 芳玉
柘 英峰
寺尾 桑林
松下 英風
横井 宏軒

〈か な〉

清水 春蘭
永平巳旺子
早川 修
吉澤友岐子
磯貝 弘子
岡野 楠亭

〈篆 刻〉

第七十三回 毎日書道展

◇会員賞選考委員

加藤 裕

◇当番審査員

〈漢字Ⅰ類〉 川崎 尚麗
〈漢字Ⅱ類〉 加藤 祐
〈近代詩文書〉 黒田 寿水
原田 凍谷
波切 童州

第八回 日展 名古屋展 入賞者

中日新聞社賞を受賞して



中日新聞社賞
横井 宏軒

第八回日展名古屋展におきまして栄えある「中日新聞社賞」を頂き誠にありがとうございました。今回の作品は、漢隸及び明清の隷書を参考に表現方法を模索しながら師匠のご指導を頂き今までと違う新たな隷書作品制作を目指し書き上げました。

CBC賞を受賞して



CBC賞
衣川 彰人

ここ数年、作品制作において、なかなか新たな方向性を見いだせないまま暗中模索する日々が続いておりました。そのようなところに、多くの先生方から、作品づくりについて温かい言葉をかけていただく機会に恵まれましたお陰で、今までは違った新たな書作への変化を求めて、試行錯誤しながら取り組むことが出来ました。今回の作品は、まだまだ迷いも多く、手探り状態の中で書いたものですが、思いもよらずこのような栄を賜ることが出来ましたことは、さらなる研鑽に向けてお励ましをいただいたものと拝謝申し上げます。今後、ますます精進してまいりますので、より一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

東海テレビ賞を受賞して



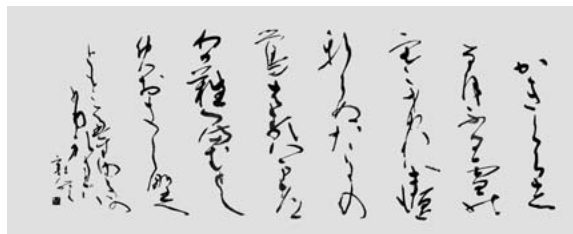
東海テレビ賞
片山 清洲

ました。少し濃い青墨を使用し中鋒に心掛け運筆・速度の変化などを思考して柔らかさに加えインパクトのある線質を目指しました。今年、入選十回目の記念の年でありましたので感慨深く夢のようでございます。今回の受賞を励みに、心を引き締めて一層精進して参りますので、今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



永きに渡りご指導いただきました師匠、また諸先輩方のご指摘等により作品制作をできましたことを深く感謝申し上げます。今後皆様からの温かいご指導を賜わり、今回の中日新聞社賞受賞に際しての感謝・感激を忘れず日々精進してまいります。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。この度の栄誉ある賞誠にありがとうございました。ごさいます。

この度は日展名古屋展におきまして、受賞の栄を賜り身に余る光栄と感謝の気持ちで一杯でございます。これも偏に諸先生・諸先輩方のご指導とご高配のお陰と深く感謝いたしております。受賞作品は、万葉歌（車持朝臣千年が住吉の浜を讀んで詠んだ歌）を「王羲之」を基調にして「佐理」を臨書しつつ制作にあたり



第72回 中日書きぞめ展授賞の喜び/賞状授与

賞状授与 令和4年3月13日(日) 14時 会場 ナディアパーク 3階 デザインホール

文部科学大臣賞を受賞して

愛知県立横須賀高等学校 二年 柳 澤 心 那

この度は「文部科学大臣賞」という大変名誉ある賞を頂き、誠にありがとうございます。ご指導して下さった先生、いつも私を支えてくれていた両親には本当に感謝しかありません。

私が書道教室に通い続けて十三年になります。私にとって一つの目標であり、夢でもあり、憧れでもあるこの「文部科学大臣賞」を受賞したという知らせを聞いた時には嬉しさのあまり号泣してしまいました。北斎が最晩年に描いたと言われている「富士越龍図」を題材にし、今年例年になく意気込んで今まで以上に書と向き合い、何れも何れも練習を重ねました。渾身の力を込めて作りあげた作品は達成感に満ち溢れていました。それがこのような結果になり、本当に嬉しいです。

今回頂いたこの賞の名に恥じぬよう、書を通して自分の心を磨き、精進

文部科学大臣賞受賞作品



歓びの上位受賞者

して参りたいと思います。今後ともご指導の程頂きますようよろしくお願い致します。

第七十二回中日書きぞめ展授賞式を終えて

褒賞部長 水野 峯 翠

令和四年三月十三日(日)ナディアパーク三階デザインホールにて、第七十二回中日書きぞめ展授賞式を挙行いたしました。

本年も新型コロナウイルス感染症状況を鑑み、感染防止の為に葉書にてご出欠表をご提出いただき、受賞者と保護者一名の入場といたしました。

受付前での検温および消毒にご協力いただき、受付・演台前に感染防止シールドを設置し、受賞者の座席は一名おきの指定席にいたしました。また、賞状授与を簡素化し、一回に壇上にかかる受賞者を減らすことで、密になることを避けて行いました。

式典は、式次第に基づき厳かに粛々と行われ、無事終了致しました。受賞者および保護者の方々のご協力に感謝申し上げます。また、ご指導ご協力いただきました指導者の先生方に御礼申し上げます。また、次年度も本年と同時期に開催する予定です。何卒本年同様にご多数のご出品をお願い申し上げます。



授賞式風景



賑わいの入賞作品前

第七十二回 中日書きぞめ展入賞者

修文女子高等学校 一年 藤村 真央



衆議院議長賞

参議院議長賞

文部科学大臣賞

高校二年 柳澤 心那

衆議院議長賞

高校一年 藤村 真央

参議院議長賞

高校三年 村瀬 眞子

愛知県知事賞

中学三年 浜松明日香

中学二年 岩間 有沙

小学四年 小柳津実桜

岐阜県知事賞

中学一年 山下さくら

小学六年 秋山 芽実

小学二年 内堀 塔子

三重県知事賞

小学六年 稲葉 可純

小学五年 中村麻梨奈

小学三年 林 陽菜里

名古屋市長賞

高校二年 竹本 英那

中学三年 向澤 実優

小学五年 大野 莉奈

愛知県議会議長賞

高校三年 遠藤 瑞希

岐阜県議会議長賞

中学二年 松野 莉子

三重県議会議長賞

小学四年 小川心々菜

名古屋市長賞

高校一年 蟹江 彩葉

中学一年 平本 智嗣

小学六年 石川 直弥

愛知県教育委員会賞

高校二年 稲田 夏生

中学三年 杉浦 栞

小学六年 高木 はな

岐阜県教育委員会賞

高校三年 山本 悠菜

中学三年 谷口 陽菜

中学一年 成木 陽香

三重県教育委員会賞

中学三年 横山 遥星



名城大学附属高等学校 三年 村瀬 眞子

中学二年 小多 麻未

永井 光莉

渡邊 園葉

宮田 莉子

山田 結月

小学六年 加藤 楓栞

寺本 悠真

中日書道会賞

高校一年 中西 真尋

中学三年 青山いのり

中学二年 杉村 蓮里

杉本 裕哉

土本 桃花

福田 あみ

宮原 伶歌

柳澤 心

小学六年 舟橋 空良

小学五年 西山真陽琉

中日新聞社賞

高校二年 荒井 颯斗

酒井千早季

森嶋 心海

野口 瑞葵

高校一年 坂口 穂佳

藤井 咲帆

吉田 夢叶

大鹿 真央

大野 史華

青木萌々花

大窪 樹音

岡田百々花

鈴木真里江

高田奈桜子

吉川 咲友

小学六年 糸数 心音

木村 心音

高松 花怜

小学五年 安江 穂華

小学四年 久田 知奈

東海テレビ賞

高校二年 辻 永恋

高校一年 円山 花央

中学三年 福岡 莉沙

中学二年 木本 沙季

堀江 美名

小学六年 磯部 裕雄

波多野結万

村上 千歩

小学五年 長谷川和奏

小学四年 国枝 歩未

CBCテレビ賞

高校二年 榎本 咲良

小坂浩太郎

高澤 美優

清原 乙華

小学六年 飯田 環

小川嵩太郎

曾我智百合

高窪 心芭

前岡由愛来

愛知県知事賞 中三 浜松明日香
類蔵等捷
中三 明日香

愛知県知事賞 中二 岩間 有沙
瑞雲鶴舞
中二 岩間 有沙

愛知県知事賞 小四 小柳津実桜
春光千里
四年 小柳津実桜

岐阜県知事賞 中一 山下さくら
博愛精神
中一 山下さくら

岐阜県知事賞 小六 秋山 芽実
初日の出
六年 秋山 芽実

岐阜県知事賞 小二 内堀 塔子
白心じ
小二 内堀 塔子

三重県知事賞 小六 稲葉 可純
強い精神
小六 稲葉 可純

三重県知事賞 小五 中村麻梨奈
新春の朝
五年 中村麻梨奈

三重県知事賞 小三 林 陽茉莉
春の足音
三年 林 陽茉莉

名古屋市長賞 高二 竹本 英那
僕射挺不行 功業常人臣極地
英那 功業常人臣極地

名古屋市長賞 中三 向澤 実優
博愛精神
中三 向澤 実優

名古屋市長賞 小五 大野 莉奈
天空の夢
小五 大野 莉奈

愛知県議会議長賞 高三 遠藤 瑞希
集鸞踏聖陳敷翹嬰 程願塚平梁賢尹寛
遠藤 瑞希

岐阜県議会議長賞 中二 松野 莉子
白鶴舞姿
中二 松野 莉子

三重県議会議長賞 小四 小川心々菜
大空の旅
四年 小川心々菜

名古屋市長賞 高一 蟹江 彩葉
落日漸收鴉背影夜 風猶亂馬蹄聲
蟹江 彩葉

名古屋市長賞 中一 平本 智嗣
博愛精神
中一 平本 智嗣

名古屋市長賞 小六 石川 直弥
富士越龍
六年 石川 直弥

愛知県教育委員会賞 高二 稲田 夏生
白雲一何も何も 楓浦と不後愁
稲田 夏生

愛知県教育委員会賞 中三 杉浦 栞
至誠動天地
中三 杉浦 栞

愛知県教育委員会賞 中三 高木 はな
鸞翔鳳集
中三 高木 はな

名譽会長賞
 ○高校三年 加藤 有稀
 ○小学三年 小川 翠

○高校三年 梶浦 希美
 川越 詩歩
 田中梓乃華
 肥後 明里
 三輪 天音
 中川 美咲
 山田 桃花
 永谷 美鈴
 ○小学二年 越野 翔馬

○高校二年 落合和花子
 新井本佳和
 船戸 颯太
 田中 優子
 北村 美優
 船戸 颯太
 穂積 春奈
 松井 桜子
 森嶋 海成
 山下 春菜
 鷺野 眞歩
 清野みのり
 巽 彩夏

○小学一年 新井結姫乃
 池田 百音
 石垣 青葉
 石川 千紗
 市岡 陽菜
 大里 瑛子
 近藤 冴映
 柴田 夏歩
 鷹見 青空
 田中 和輝
 ○小学六年 荒川晃太郎
 伊藤 大貴
 小林 美優
 佐藤 史織
 佐藤茉莉花
 平子 昊
 山本 楓珈

○小学二年 浅野 紫音
 石川 琴子
 伊藤 心花
 春日 清芳
 加藤 徳真
 田所 叶羽
 力 慶輔
 坪根 里紗
 中村 紬希
 三島 桜
 水野丞太郎
 中野 遥斗
 平田 あや
 三好 伶奈
 村尾 季里
 山内 陽菜
 猪狩 心那
 長深田沙弥
 吉田 鈴
 ○小学四年 門脇 葉子
 近藤 萌愛
 坂田実衣菜
 佐藤宏志郎

○小学一年 清水 紅花
 高谷允佐年
 浅野 紫音
 大里 瑛子
 市岡 陽菜
 近藤 冴映
 柴田 夏歩
 鷹見 青空
 田中 和輝
 ○小学六年 荒川晃太郎
 伊藤 大貴
 小林 美優
 佐藤 史織
 佐藤茉莉花
 平子 昊
 山本 楓珈

○小学二年 糸数 璃乃
 稻垣 瑠美
 岩田 実華
 大河内もな
 梶田真衣香
 ○小学四年 門脇 葉子
 近藤 萌愛
 坂田実衣菜
 佐藤宏志郎

○小学一年 新井結姫乃
 池田 百音
 石垣 青葉
 石川 千紗
 市岡 陽菜
 大里 瑛子
 近藤 冴映
 柴田 夏歩
 鷹見 青空
 田中 和輝
 ○小学六年 荒川晃太郎
 伊藤 大貴
 小林 美優
 佐藤 史織
 佐藤茉莉花
 平子 昊
 山本 楓珈

○小学二年 浅野 紫音
 石川 琴子
 伊藤 心花
 春日 清芳
 加藤 徳真
 田所 叶羽
 力 慶輔
 坪根 里紗
 中村 紬希
 三島 桜
 水野丞太郎
 中野 遥斗
 平田 あや
 三好 伶奈
 村尾 季里
 山内 陽菜
 猪狩 心那
 長深田沙弥
 吉田 鈴
 ○小学四年 門脇 葉子
 近藤 萌愛
 坂田実衣菜
 佐藤宏志郎

○小学一年 清水 紅花
 高谷允佐年
 浅野 紫音
 大里 瑛子
 市岡 陽菜
 近藤 冴映
 柴田 夏歩
 鷹見 青空
 田中 和輝
 ○小学六年 荒川晃太郎
 伊藤 大貴
 小林 美優
 佐藤 史織
 佐藤茉莉花
 平子 昊
 山本 楓珈

○小学二年 糸数 璃乃
 稻垣 瑠美
 岩田 実華
 大河内もな
 梶田真衣香
 ○小学四年 門脇 葉子
 近藤 萌愛
 坂田実衣菜
 佐藤宏志郎

○小学一年 新井結姫乃
 池田 百音
 石垣 青葉
 石川 千紗
 市岡 陽菜
 大里 瑛子
 近藤 冴映
 柴田 夏歩
 鷹見 青空
 田中 和輝
 ○小学六年 荒川晃太郎
 伊藤 大貴
 小林 美優
 佐藤 史織
 佐藤茉莉花
 平子 昊
 山本 楓珈

岐阜県教育委員会賞 高三 山本 悠菜
 友へ道祝辭：時方智略臨奥中：温帯
 閑虚夢：時竹珠維下：飛心歸：寂林
 湖南雲気満蒼梧金書縹緲

岐阜県教育委員会賞 中三 谷口 陽菜
 理想実現

岐阜県教育委員会賞 中一 成木 陽香
 百花繚乱

三重県教育委員会賞 中三 横山 遥星
 百花繚乱

三重県教育委員会賞 中一 中田 帆香
 龍翔雲起

三重県教育委員会賞 小六 平岡 莉子
 夢の実現

名古屋市教育委員会賞 高二 加藤 咲穂
 薄雲奇々音々 音々 相對向
 夕陽紅く木村 美穂

名古屋市教育委員会賞 中一 三井 順子
 龍翔雄飛

名古屋市教育委員会賞 小六 水溪 魁志
 新春大空

記念賞 高三 伊藤 美奈
 天地玄黄 宇宙洪荒 日月盈昃 星辰列
 運 恩来 暑往 秋收 冬蔵 聖師 成 歲 律 呂
 調陽 燠 暄 致 雨 霽 結 烏 霜 全 生 麗 尔

記念賞 高三 永田 彩乃
 別去西江上 海濱 宿短亭 望遠 雲
 白鳥 山岫 皆 有 音 由 琴 鏡 匠 匠 匠
 名 歲 旦 慶 賀 能 分 夫 室 自 次 指 拂 多 多

記念賞 高二 鷹見 秀真
 牛欄請工鏤

記念賞 高二 真野 青空
 さくらさくら 祈り 女の 言葉 見渡す
 かさねり 霞 雨 雲 心 かな かな

記念賞 高一 岡田 由香
 さくらさくら 祈り 女の 言葉 見渡す
 かさねり 霞 雨 雲 心 かな かな

記念賞 高一 長谷川千紗
 正家崇秩

記念賞 中三 橋本 京佳
 温慈惠和

記念賞 中二 小多 麻未
 瑞気集門

記念賞 中二 永井 光莉
 感想発表表

記念賞 中二 渡邊 園葉
 白鶴舞姿

記念賞 中一 宮田 莉子
 龍池望玉五雲

記念賞 中一 山田 結月
 雲外独歩

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----|----|----|----|-----|-----|----|----|----|----|----|------|-----|----|------|----|-----|----|----|----|----|----|-----|----|----|----|----|-----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 水鳥 | 三浦 | 松井 | 瀧日 | 高木 | 鈴木 | 鈴木 | 米山 | 山口 | 森崎 | 松原 | 東 | 中西 | 長江 | 田中 | 高野 | 鈴木 | 小島 | 小出 | 北原 | 大脇 | 永徳 | 宇佐 | 今井 | 安達 | 横井 | 望月 | 宮川 | 平山 | 東 | 丹羽 | 中島 | 塚田 | 竹内 | 高松 | 鈴木 |
| 凜音 | 仁和 | 玲来 | 彩愛 | 莉奈 | 千遥 | 慶太 | 陽菜 | 奈央 | 純花 | 叶和 | 隼史 | 優稀 | 柚子 | 那葉 | 和泉 | 伶音 | 響子 | 純惺 | 美彩 | 奏奈 | 美優 | 美結衣 | 咲良 | 陽色 | あん | 悠寿 | 莉々菜 | 園子 | 珠来 | 宏明 | 碧彩 | 凜々 | 美来 | 珠羽 | 奏斗 |
| 川端 | 伊藤 | 中尾 | 小野 | 河合 | 横田 | 青木 | 推薦 | 伊藤 | 幼年 | 高橋 | 小学二年 | 長谷川 | 加藤 | 小学三年 | 東 | 長谷川 | 下川 | 内藤 | 錦澤 | 坪倉 | 高野 | 三浦 | 古川 | 平手 | 中村 | 鶴見 | 田中 | 熊崎 | 加藤 | 糸川 | 阿部 | 渡邊 | 森日 | 菜乃 | |
| 脇田 | 市川 | 柴垣 | 河合 | 志村 | 杉本 | 佐藤 | 市岡 | 城有 | 高浪 | 花田 | 熊谷 | 岡部 | 宮崎 | 木村 | 林由 | 横井 | 山崎 | 米田 | 早瀬 | 浅井 | 井上 | 今井 | 横田 | 山田 | 河本 | 水野 | 山口 | 岡田 | 平賀 | 山下 | 服部 | 平本 | 啓恭 | | |
| 綾乃 | 香澄 | 結菜 | 美羽 | まなみ | くるみ | 那南 | 都和 | 里奈 | 鼓子 | 圭 | 京香 | 更桜 | 菜央 | 歌暖 | 喜奈 | 璃子 | 翔太 | 愛 | 沙織 | 心音 | 暖柊 | 美穂 | 美穂 | 沙輝 | 朝良 | 珠璃 | 理沙 | 蓮人 | 剛平 | 心音 | | | | | |

記念賞 小六 加藤 楓栞

初日の出
藤岡 六子
加藤 楓栞

記念賞 小六 寺本 悠真

富士白雪
六年
寺本 悠真

中日書道會賞 高一 中西 真尋

不と敵州地稼祝老石向程橋耗
狼獲病骨懼種烟推吃深崖老
天竺生福邊古酒一英定景其生也

中日書道會賞 中三 青山いのり

瑞雲皇鶴舞
中三
青山いのり

中日書道會賞 中二 杉村 蓮里

春和景明
中二
杉村 蓮里

中日書道會賞 中二 杉本 裕哉

龍池望雲
中二
杉本 裕哉

中日書道會賞 中二 土本 桃花

飛躍の年
中二
土本 桃花

中日書道會賞 中二 福田 あみ

龍翔雲起
中二
福田 あみ

中日書道會賞 中二 宮原 伶歌

感謝する心
二年
宮原 伶歌

中日書道會賞 中二 柳澤 心

優雅な姿
中二
柳澤 心

中日書道會賞 小六 舟橋 空良

初志貫徹
六年
舟橋 空良

中日書道會賞 小五 西山真陽琉

永遠の美
五年
西山真陽琉

中日新聞社賞 高二 荒井 颯斗

耀多雲揚鴻漸羽
儀龍騰鳳舞
荒井 颯斗

中日新聞社賞 高二 酒井千早季

南嶽既澄震傲歸闌軍次行路逵
石窟覽先皇之明蹤觀威聖之明
巖迹曠目宵泓然派
酒井千早季

森 聡士
○中学三年
柴田 実歩
服部 隼典
福岡 輝人
熊澤 一乃

真野 蓮音
青山 凌大
中村 悠花
近藤みはる
黒柳 寿仁

岡田 星華
五瀬 勝樹
鬼頭 世来
山口 紗奈
山下 裳子

堀井 彩那
安江 虹葡
石井 颯汰
岩田 梨杏
深井 唯翔

高田 菜摘
小笠原龍翔
古田 芽生
山本 誠也
星野 結香

川上 尊己
淺見 真希
村瀨 媛香
橋本 紗奈
綾戸 美月

濱田 幹太
神谷野々花
神谷 友基
佐伯 璃乃
正中みゆき

成瀬 若菜
島澤 美心
森島 菜歩
石川 愛翔
高橋 直巳

太田 万葉
榎本 奏
井上 菜音
龜谷 茉央
青木実和子

川村 拓人
福永 妃乃
谷口 一貴
及川 真綾
明石 真依

小鹿 友菜
吉田 清華
大藪 紗椰
都築 佑政
白木明日実

早川 駈
鬼頭 雫葉
西野 小夏
谷川 璃子
杉山 さら

小野田実侑
中西 雫葉
大川 寛太
小村 彩美
池田 瑠華

徳永 翔乙
中西 匠見
佐宗 修弥
板元 健太
近藤 紗希

河内 美久
小仲 真由
大野 芭月
藤川 詩野
西川 夏末

矢野 悠介
中島 朱音
磯村 有花
妹尾 泰尚
武藤 麻布

岡田 蒼来
後藤 千紗
谷川 皐月
遠藤 湮
古田 明里

田中 豪
八卷 里咲
大花 孟
大橋 一真
宮崎 咲衣

山田 紗楽
八木 佑基
大塚帆乃香
沢田 麗羽
松浦 佑樹

宇佐見真吾
野々山心桜
野田 夢羽
山下 真穂
大野 彩佳

仲田 沙絵
神谷 陽菜
平松 和子
山下 真穂
松本 惟暉

川本 ノア
朝井 寧々
西山 優佳
羽富 彩果
松葉 百思

横井 伶奈
石塚 千紗
甲斐田寧々
山西 悠月
野崎 詩

関 陸翔
川上 優空
山下珠悠子
齋藤 来羽
宮本 彩羽

稲森 乃愛
井澤 駿
寛 陽華
横田 羽南
松本 彩羽

西元 彩乃
田畑日奈子
甲斐 衣織
横森 舞
太田 小晴

大野 愛依
中村 壽愛
田口紗衣音
卷野 詩乃
富田 心菜

内村 彩花
林 小葉
北嶋 琴音
緒川 彩子
水野 晃輔

榊原 汐里
多田結美子
杉本 由梨
野田 百花
森本 彩月

小松 起子
渡邊 葉
杉田 一浩
山田高太郎
伊藤 里紗

磯谷 莉子
飯阪 智
村橋ひかる
飯田 奏海
鈴木 綾乃

青山 紗也
伊藤 綺咲
小栗 琉楠
新原 凛華
坂口 夏菜

原田 姫花
齋藤 遥
石倉 凛華
若泉 花音
浦 愛理

柴 菜優
宮地麻菜美
林 怜奈
牧野 晃弥
吉本 紋彩

鈴木 明依
小坂 幸慈
石島 妃菜
横山百合香
二村 紗衣

種部 遥
金藤 康祐
渡邊 琴弓
寺澤 梓月
古山 心菜

中日新聞社賞 小六 木村 心音
新春飛躍
 六年 木村 心音

中日新聞社賞 小六 高松 花恰
初夢宝船
 六年 高松 花恰

中日新聞社賞 小五 安江 穂華
日本の春
 五年 安江 穂華

中日新聞社賞 小四 久田 知奈
平和な年
 小四 久田 知奈

東海テレビ賞 高二 辻 永恋
 皇國茲要州雙林禁則法師身
 崇聖教重興、寶殿使、初生靈
 咸蒙福、捨離塵、倍校志、灣門、

東海テレビ賞 高一 円山 花央
 春の足音
 春の足音

東海テレビ賞 中三 福岡 莉沙
理想の實現
 三年 福岡 莉沙

東海テレビ賞 中二 木本 沙季
輝く生命
 二年 木本 沙季

東海テレビ賞 中二 堀江 美名
理想實現
 中二 堀江 美名

東海テレビ賞 小六 磯部 裕雄
初日の出
 六年 磯部 裕雄

東海テレビ賞 小六 波多野結万
初日の出
 六年 波多野結万

東海テレビ賞 小六 村上 千歩
新陽富岳
 六年 村上 千歩

東海テレビ賞 小五 長谷川和奏
春の足音
 五年 長谷川 和奏

東海テレビ賞 小四 国枝 歩未
明るいな
 四年 国枝 歩未

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|--------|--------|-------|-------|---------|--------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|--------|-------|--------|--------|-------|-------|-------|-------|------|-------|
| 宇野 妃咲 | 前村 菜緒 | 種部 美咲 | 島原 紗菜 | 大原 悠加 | 梅田 悠加 | 栗本 鈴伏 | 花田 凛 | 岡本 勇人 | 芝田 莉娃那 | 林 大輔 | 野中 里香 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 犬飼龍之介 | 村越 愛深 | 内藤 燈 | 高津 美花 | 近藤 美悠 | 桂千 菜穂 | 高橋 亮祐 | 加藤りのあ | 倉知 永 | 菅原 広 | 佐々木 雫 | 大西 叶莉 | 柴田 玲奈 | 熊谷 妃那 | 田中 那樹 | 舟橋 優衣 | 金枝 さほ | 井深 太智 | 寺崎 美桜 | 木全 花鈴 | 伊藤 健成 | 高野 珠莉 | 坂 麻由香 | 笹井 小夏 | 蔵座穂乃花 | 伊藤 紅葉 | 長谷川 詢祐 | 石川 千聖 | 伊藤 知晃 | 横井 奈々 | 仲村 一花 | 中島 佳歩 | 神谷 由理 | 竹内 球人 | | | | | |
| ○中学一年 | 久野 史織 | 中村 香晴 | 福 添華 | 西野 陽多 | 鈴木 天翔 | 廣村 和奏 | 三輪 紗子 | 杉本 瀬名 | 豊島 思歩 | 若杉 莉緒 | 中井 唯愛 | 加藤 綾奈 | 杉山 閏哉 | 天川 永理 | 大川 夏季 | 沼澤 汐音 | 丹羽 優紀 | 高橋 真矢 | 小泉 陽菜 | 小笠原 杏心 | 泉 貴陽 | 宇佐 美奏 | 草薙 菜帆 | 本田 夏姫 | 中島理々香 | 岡田実怜奈 | 山下 杏鈴 | 伊藤 優征 | 岩田 芽依愛 | 吉田 莉子 | 鶴見 あゆら | 大久保 瑠莉 | 藤森 和香 | | | | | |
| 岡本 勇人 | 多田 絃哲 | 福岡 里桜 | 龍井 美仁依 | 西岡 優李 | 松井 心優 | 小倉 奈々 | 松原 未來 | 岩尾 有希子 | 野村 綾花 | 石井 眞空 | 加藤 蓮都 | 佐土根 麟太郎 | 芝田 莉娃那 | 林 大輔 | 野中 里香 | 加藤 あや美 | 西元 祐貴 | 南部 陽太 | 上岡 美稀 | 植田 美音 | 土本 夏美 | 沢田 樹泉 | 牧 玲奈 | 松 和奉 | 田中 咲瑛 | 長谷川 晃葉 | 中村 咲瑛 | ○小学六年 | 山口 結愛 | 木村 英太 | 田中 杏 | 豊原 芽生 | 永津 咲季 | 肥後 光咲 | 山崎 絢音 | 横田 胡桃 | 林 大輔 | 野中 里香 |
| 伊藤 瑚 | 井村 風香 | 大野 彩芭 | 近藤 佑香 | 丹下 咲良 | 松尾 芽生 | 溝口 開斗 | 清水 風花 | 江口 真央 | 吉岡 柚子香 | 一柳 凜夏 | 田畑 隆也 | 篠田 紗穂 | 小川 曾空 | 河原 叶実 | 山田 れみ | 島村 ななみ | 小林 芽愛 | 吉野 晴翔 | 幸田 莉桜 | 森 優貴 | 田中 心馨 | 加藤 陸登 | 川井 麻衣 | 青山 もな | 今川 愛菜 | 折笠 莉那 | 田中 凛 | 松 和奉 | 牧 玲奈 | 沢田 樹泉 | 植田 美音 | 土本 夏美 | 永津 咲季 | 肥後 光咲 | 山崎 絢音 | 横田 胡桃 | 林 大輔 | 野中 里香 |

CBCテレビ賞 高二 榎本 咲良

天朗氣清惠風和暢仰觀宇宙之大俯察品類之盛巧以遊目騁懷足以極視聽之娛信前年以來最良

CBCテレビ賞 高二 小坂浩太郎

龍騰虎躍雄飛龍虎相逐存身於此世而知其沉淪之重若作此世間之主復作其難而不為欲觀紫雲錦先華之動不不能其世懷焉觀彼而知其是妙哉故於此世獻後二為福編其成其空願保傳結一障之文字

CBCテレビ賞 高二 島澤 美優

圓澄 延豊 圓環

元慶年 延豊 元慶年 圓環 延豊 圓環

CBCテレビ賞 中三 清原 乙華

瑞雲富士嶺

中三 清原 乙華

CBCテレビ賞 中三 小木曾蘭奈

萬物生光輝

三年 小木曾蘭奈

CBCテレビ賞 小六 飯田 環

大空新陽

六年 飯田 環

CBCテレビ賞 小六 小川嵩太郎

初日の出

六年 小川 嵩太郎

CBCテレビ賞 小六 曾我智百合

富士白雪

六年 曾我智百合

CBCテレビ賞 小六 高窪 心芭

輝く太陽

六年 高窪 心芭

CBCテレビ賞 小六 前岡由愛未

夢の実現

小六 前岡由愛未

CBCテレビ賞 中三 清原 乙華

田中 陽菜 内山 周哉 大泉 瀬梨

染谷 亮人 氏福 昂 加藤里依紗

清水 聖菜 龜山 花 澤田 梨緒

水野 心晴 浪崎 怜奈 鈴木 綺華

村越 蒼 水谷 係心 堀田 真生

鈴木 愛來 古市 彩瑛 横田 翔

黒宮 悠斗 岩下 悠希 早川 桜友里

別府 一華 國光 理央 今井 連斗

眞下 智晴 市原安芽莉 ○小学五年

川尻 和奏 彌宜田なつ 伊藤 希

後藤 咲和 谷口 暖 大窪 響希

横江優衣香 神谷 柚寧 上田 希美

小島 千知 皆川 愛葵 竹下 紗彩

田中 心春 渡邊 海央 竹谷 悠希

池田 紗夕 内田 颯太 小野 彩葉

山川 紗生 小角 一球 坂本 柚季

高村 芭奈 宇多賀史緒 恒川 凜

櫻井 香帆 神原 萌 伊藤 灯海

穂積 滯奈 高武みづき 小島かな

松下 莉緒 松永 莉乃 船戸 来実

浅井 美咲 加藤 礼 堀江 優花

脇田 時名 肥沼 陽斗 清原 惟叶 久保田花愛

倉橋奈津季 渡邊 瑠乃 染谷 結人 小島 綾乃

蔡 瑄 青木 千春 山本 琥大 三宅 望陽

村山 泰士 杉本 富美 井上 陽斗 新浪瑚々乃

鎌田未奈萌 石島 聖菜 森田 陽葵 ○小学二年

鈴木 綾乃 木村美紗希 奥田 玲 小林 玲菜

及川 結理 富田 夏海 杉本結羽花 池上恵理子

二野 宮叶 光田 悠真 阿出 川潤 大橋 輝央

松浦 碧依 今井杏紀奈 坂口 絢音 坪内龍之介

富岡 葉奈 矢野 結子 山田 涼子 山本 菜緒

安田 直哉 宮澤 亜子 橋本 涼子 早川 菜緒

長澤 果穂 齋藤 幸陽 若杉 咲玖 磯部 希歩

中原 果音 齋藤 未空 中尾 香凜 早川 りほ 田島 大城

柴田 一花 中尾 香凜 米谷 桜月 ○小学三年

須藤 彩奈 日名子陽愛 星野 桜 谷口 稚奈

森永 愛 ○小学四年 藤本 紗菜

石川 紗衣 金谷 莉果 水口優莉子 川本慎之祐

寺本 圭汰 島居 あい 大島 愛詩 石川穂乃佳

若松 慈恩 南谷 芽 舟橋 咲希 夏目 しほ

江原 風花 岩本佳央梨 浅井 柚衣 森本季依奈

吉田 ゆい 高田 結月 犬飼 菜沙 川添 千綾

亀岡 真衣 辻和 香那 石橋 歩剛 ○小学一年

鈴木 奏瑛 土岐 美天 加藤 双葉 井上 涼介

溝延 桃 水澤 碧 重村 悠翔 近藤 結月

渡邊 唯 伊藤真由奈 藤井 莉子 高橋 杏奈 鈴木 智陽

井上 竣介 藤田 唯 德田龍之介 太口 萌生

後藤 愛実 船田 唯 高比良柑奈 西川 凜

村上 由真 谷口 結理 橋本かな 李 えり

田中 乃愛 加藤竜太郎 松浦 颯汰 原口ひより 中村 大輝

加藤 未唯 加藤 彩羽 松野 佑哉 柴田 陽菜

菊田 芽沙 白木 壮 鈴木 琉捺 難波あやね 浦崎 帆波

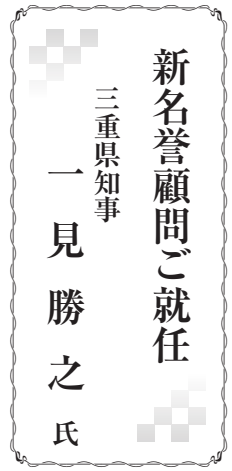
神谷 咲帆 神谷 咲帆 福山 楓人 加藤 楓人

井上 紗希 山本 紗菜 尾田 真綾 大西 諒

応募点数..... 13,400点

文部科学大臣賞..... 1名	名古屋市会議長賞..... 3名	名誉会長賞..... 71名
衆議院議長賞..... 1名	愛知県教育委員会賞..... 3名	理事長賞..... 85名
参議院議長賞..... 1名	岐阜県教育委員会賞..... 3名	推薦..... 317名
愛知県知事賞..... 3名	三重県教育委員会賞..... 3名	奨励賞..... 592名
岐阜県知事賞..... 3名	名古屋市教育委員会賞..... 3名	特選..... 1,015名
三重県知事賞..... 3名	記念賞..... 14名	準特選..... 4,003名
名古屋市賞..... 3名	中日書道会賞..... 10名	秀逸..... 3,364名
愛知県議会議長賞..... 1名	中日新聞社賞..... 20名	佳作..... 2,633名
岐阜県議会議長賞..... 1名	東海テレビ賞..... 10名	入選..... 1,223名
三重県議会議長賞..... 1名	CBCテレビ賞..... 10名	

第一位	書玄会
第二位	牛刀会
第三位	墨游会
第四位	牧書会
第五位	大朴会



新入会員紹介
(四月分)

●本部

青木 美和	大谷 祥雨	加藤 真由美	加藤 真由美
朝居 華緒	大久 瑞生	蟹江 和江	加藤 美香
浅井 孝行	大山 直美	柄澤 信一	鈴木 聡志
石黒 真泉	岡崎 真理	河口 航毅	鈴木 ふゆ香
伊勢 香花	小川 彩音	川原 香泉	鷺見 桃華
伊藤 松園	尾関 賀妙	喜多村秋香	長縄 澄香
今井 千寿	尾関 麗風	北村 嘉孝	中野 紫泉
今枝 瀧華	小田 美祥	木下 知美	西尾 松子
今橋 由利	鬼塚 佳香	楠森 玄峰	山内 萌歌
植村 静露	小野 遙月	窪田 有桜	山口 典子
上村 寿子	小野田知美	合木 湖雪	山田かをる
内山紗都子	鏡味 洋子	河野 東光	山田 隆久
梅村 香園	垣内 紀子	児玉 峰月	山中 峰代
延東 千恵	加古 寅起	後藤 三奈	湯之上桃琶
大澤 浩子	片山 沙弥	後藤 夢芽	吉川 抱雲
太田 祥玉	加藤 悦子	小牟禮優美英	吉田 玉枝

近藤 碧霄	土屋 美加	藤戸 恒成	●一宮支部	●半田支部	溝口 泰司
齋藤 大貴	寺井 嘉有	舟橋 優典	飯田 華翠	伊藤 祥葉	●中南勢支部
佐藤すみ子	寺尾あかね	古崎 碧泉	岩田 彩七	中野 神泉	小掠 雄大
佐藤 清峯	徳倉 有鄰	細川 厚子	岩田 桃雨	宮島 琴音	高森 良鶯
佐橋 美風	外山 優奈	松浦 華峰	大谷 泉翠	●西三支部	中川 春光
重野 高棲	内藤 陽春	松田眞理子	小笠原温孝	岡田 天袖	●岐阜支部
島崎 梨沙	永井 邦子	水谷 文江	小笠原寧秀	川部 啓子	居上 紅滯
杉浦 雅子	長尾 有紗	水谷 祐子	後藤 翠萌	近藤 彩月	岡田 義明
杉田 春翠	中島 春燈	三井 孝	坂元 恵翠	鳥村 寛子	梶原 彩瑤
杉本 和代	中島 汀葉	三輪 天音	柴田 智紅	杉浦 朱音	加藤日出男
鈴木 聡志	中島 優	村上 史子	住田明花里	杉山 清香	後藤 紅葩
鈴木 ふゆ香	中島 悠稀	村上 庸子	瀧 光瑩	鈴木 志保	子安 孝子
鷺見 桃華	長縄 澄香	村瀬 徑秀	武田 芳雨	高柳 藍玉	酒向 星恵
高田 有紗	中野 紫泉	村田 景純	田中 昌子	成瀬 美景	清水 水僊
高橋 薫麗	西尾 松子	山内 萌歌	棚橋 紅蘭	原 倫清	土田有里子
竹村 英恵	丹羽 紅翠	山口 典子	玉置奈緒子	本間あけみ	戸田 美祥
武山 春雪	野田 芳樹	山田かをる	中出 紅和	村瀬美奈絵	永田 彩乃
田中 寿風	島山美智子	山田 隆久	野田眞梨華	天野 博子	中村 彩花
谷口 衿香	服部 紫翠	山中 峰代	野々垣 悠	●濃飛支部	橋本 乾石
谷口貴代子	服部 泰斗	湯之上桃琶	畑佐 昂佳	林 花恋	古橋 葉子
田原 清明	馬場 実	吉川 抱雲	廣川 蒼岳	●北勢支部	堀 清順
田村 華英	濱砂 恵慧	吉田 玉枝	増田 千咲	稲垣流美子	南谷 流泉
柘植 悠香	日高 綺音	若松 安寧	安井美沙子	今村 美玲	
辻 聖漣	深谷祐加里	分部 鳳翼	山田 一華	福山 仁雅	
土本 珠星	藤田 智子			松宮 翠玉	



塾総合保険のご案内

本会では、書道塾を経営されている会員の先生方のバックアップと、塾生の安全と安心のために「塾総合保険」を行っております。

生徒一名に付年額一四〇円で大きな保障となっております。年度途中での加入もできます。保険期間は、その年の十月一日から翌年十月一日までとなります。

この保険は、本会と保険会社が直接契約しているものであるため、少人数での加入ができ、有利な条件となっております。事故はいつ起こるか分かりません。生徒さんの安心と安全のために是非ご加入ください。又既に加入されている皆さんは十月一日が期限ですから、忘れずに契約更新を行って下さい。資料請求、申し込みは本部まで。

補償内容			
賠償事故	塾経営者	対人賠償てん補限度額	1名 2,000万円 1事故 1億円
		対物賠償てん補限度額	1事故 100万円
	生徒 法定監督義務者	賠償責任てん補限度額	1事故 2,000万円
傷害事故	死亡・後遺障害保険金額		100万円
	入院保険金日額		1,000円
	通院保険金日額		500円
	保険料(生徒1名につき年額)		140円

(注) 賠償事故の場合、1事故につき1,000円を自己負担していただきます。生徒の賠償責任てん補限度額は、対人、対物賠償合わせて1事故のみの適用となります。

訃報

心より哀悼の意を表し(訃告)申し上げます。(厚生部)

- 1月1日
評議員 石原馨風
ご尊父 石原榮二 享年100
- 2月6日
評議員 三野島凌雲
ご尊父 三野島鉄男 享年91
- 1月9日
名誉会長 海部俊樹 享年91
- 3月12日
正会員 森 尚香 享年91
- 1月27日
正会員 松岡輝峰 享年86
- 10月13日
事後報告
正会員 飯田寿泉 享年77
- 2月4日
正会員 廣瀬玉樹 享年78

会費未納の方へお願い

新年度がスタートしました。
令和三年度会費未納の方は、至急お納め下さい。
(正会員及び準会員の方で未納の方)
本部会員は、郵便振替 00890-6-14420。
支部会員は、各支部会計担当者にご連絡下さい。

住所変更、改姓、改号、社中変更等

変更事項は本部まで(一報下さい)。

052(583)1900

社中展・個展のご案内掲載について

本会会員による書展のご案内を、会報及びHPにて掲載させていただきます。
会報掲載には展覧会案内原稿、HP掲載には展覧会案内ハガキをお送りください。尚、展覧会原稿及びハガキは、必ず封書にてお送りください。次号掲載は、九月中旬～十一月中旬開催の展覧会となります。

お申し込みは、七月末日までに本部までお願い致します。

編集部



あとがき

中日会報、第二〇四号をお届けいたします。
名誉会長海部俊樹先生の突然のご訃報が、正月明けに入り、驚きを隠せませんでした。前二〇三号校了日の報道に急遽一報を掲載させていただきましたが、本号では、名誉顧問神田真秋先生に追悼のご寄稿を賜わり、海部名誉会長より賜りました永年のお力添えに感謝し、ご冥福と哀悼の意をお奉りさせていただきます。

第七十一回中日書道展への出品も終え、審査を経て開催準備となりますが、万全のコロナ対策を行った上、制約を設けて計画を進めております。皆様には、無事開催出来ますよう、宜しくご協力を願います。

(編集部)

支部だより(令和三年度下半期)

一宮支部

●研修会

日時 令和三年十月三十日(土)
 講師 小坂克子先生
 タイトル 『拓本』身近なもので拓を採ってみよう

ところ 一宮市民会館大会議室

参加者 二十二名(内、会員外七名)

講師の小坂克子先生をお招きして拓本の種類・実習の手順・応用と幅広く講義頂き、参加の皆様方は有意義な時を得る事が出来ました。

●第六十六回一宮支部展

日時 令和三年十一月二十七日(土)
 二十八日(日)
 会場 一宮スポーツ文化センター
 出品者 支部員 一六六名
 青年部
 個人二名 三団体 計六五名

第七十六回一宮市芸術祭参加事業の一環であり、本部からは理事長伊藤仙游先生はじめ、副理事長岡野楠亭先生、同加藤裕先生、同松下英風先生の玉作を賜りました。陳列作業も手際よく進み、一宮支部員の「一致団結」を痛感致しました。短期間でしたが、深遠な芸術の森を散策することが出来、良き学びの場となりました。

●第四十九回一宮支部学生書道展

支部展と同時開催
 総出品点数 二、七九九点
 今年度は感染症対策によりイベントを無くして学生展結果記録として上位入賞作品の写真版掲載を増加して充実を図ると共に

賞状賞品の引き換えを会場ではなく、各出品塾にて実施頂きました。が、会場では多くの出品者やご家族で賑わい、充実した「目の勉強」「親子のふれあい」の場となり、各々が作品を見入る真剣な眼差しが印象的でした。

●支部集会講演会【中止】

本来ならば去る二月二十七日(日)、本部より副理事長松下英風先生、企画委員長大池青岑先生ご臨席の下、一宮スポーツ文化センター三階ホールにて開催でありましたが、感染症蔓延防止等の措置の為、開催中止とさせていただきます。書面にて令和三年度事業報告、令和四年度事業計画案を可決いただきました。支部会員皆様方のご理解ご協力はもとより、各担当の臨機応変の処置に唯々感謝です。



令和3年度 第66回一宮支部展



令和3年度 支部研修会



令和3年度 第49回支部学生書道展

半田支部

●第五十五回半田支部展

会期 令和三年九月二十五日(土)
 二十六日(日)
 会場 半田市福祉文化会館
 出品数 七十九点

本年も昨年と同様コロナが少し落ち着いた時期にコロナウイルス感染防止対策を万全に施し開催いたしました。

本部から伊藤仙游理事長、岡野楠亭副理事長、加藤裕副理事長、松下英風副理事長、四名の先生方の玉作を賛助出品していただき会場に花を添えて戴きました。

●第七回公開書道研修会 一月二十三日
 コロナウイルス感染防止の為中止
 ●支部集会 三月六日
 コロナウイルス感染防止の為、書類による集会に変更
 全会員に議案配布及び賛否のハガキも配布賛成多数で可決
 ●講演会
 コロナウイルス感染防止の為中止

会場中央には蘇東坡の拓本卷子も展示、皆さん興味深く見入っていました。
 会員の作品も多種多様で掛軸から小額装まであり家庭でも飾れる作品が多いのが支部の特徴でお客様も気楽に楽しんでみていかれました。コロナ禍の中、会員皆様のご協力によりトラブルもなく、無事に終えることができました。



支部展風景

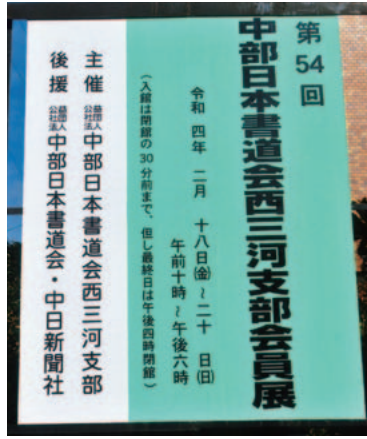


蘇東坡拓本

西三河支部

◎支部会員展

会期 二月十八日(金)～二十日(日)
場所 岡崎市美術館
出品者 一五四名
入場者 四五七名



会員展案内板



飾り付け準備作業



会場風景

愛知県まん延防止等重点措置の期間中でありましたが、他の関連行事のみを中止とし、会員展は実施することといたしました。本部からは、理事長、副理事長の三名の玉作を出品していただき、会場に華を添えていただきました。会期は、時節柄三日間に短縮して実施し、会場の準備、当番についても三密を避けるため、事務局員のみで対応することといたしました。作業にあつた方々、お疲れさまでした。

◎会員集会 中止

◎講演会 中止

◎交流会 中止

東三河支部

◎研修旅行

日時 十一月十四日(日)
行先 徳川美術館(国宝源氏物語絵巻)
参加者 十一名



研修旅行

今年度は秋晴れの中、現地集合、現地解散で研修旅行を実施いたしました。「国宝 源氏物語絵巻」は平安時代に制作されたとされる絵巻で、もとは三巻の卷子装でしたが、保存と公開の観点から昭和七年に額面装に改められました。その後八十年余りを経て再び弊害が生じたため、平成二十八年から五年にわたる保存修復を行い、詞と絵が響き合うよう本来の卷子装に戻されました。色調鮮やかに修復された詞と絵画の中に、平安王朝文化の煌びやかな社会を垣間見る思いがして、気高い世界にひたることができました。



こども書道展



選抜展

◎東三河こども書道展

期 間 一月二日(日)～十日(月)
場 所 こども未来館「ここにこ」
出品総数 一、四五八名

◎支部選抜展

日時 二月一日(火)～六日(日)
場所 豊川市桜ヶ丘ミュージアム 第一室
出品数 五十八名
入場者 二七七名

顧問の村田華穂先生、権田穂園先生、理事の古川昇史先生、参与の鈴木瑞象先生に玉作を出品していただき、各社中からは会員二分の一の個性あふれる作品が出品されました。作品は半切程度の小ぶりの作品でしたが、様々な書風が展示され、地域の書道を愛する方々に熱心に興味深く鑑賞していただきました。

濃飛支部

●支部役員会

日時 令和三年十月二十四日(日)
会場 中津川市 苗木公民館

①令和三年度支部会報について
※十一号第一回編集

②令和四年度濃飛支部事業について、次の
とおり開催を決定する。

○濃飛支部展

日時 平成四年七月二十九日
七月三十一日

場所 恵那文化センター集会所

○総会

日時 令和四年七月三十一日
場所 恵那文化センター多目的研修室

○講演会

日時 令和四年七月三十一日
場所 恵那文化センター多目的研修室

○支部交流会

日時 令和四年七月三十一日
場所 新型コロナ禍の動向により別途決定



10月支部役員会

●支部役員会

日時 令和三年十二月十二日(日)
会場 中津川市 照壽庵

①令和三年度支部会報について
※十一号記念号第一回編集



12月支部役員会

●十一号発行

発行日 令和三年二月一日

新型コロナウイルス新変異株「オミクロン株」の感染が全国で拡大により、令和三年度下期も支部の事業縮小を余儀なくされ、対面の書道教室においても自粛が続いた。令和四年度の支部活動については、コロナと共存した書道活動により各々が書道の精進と会員相互の交流が進められることを願っている。

役員会では、支部会員の増に向けて取り組むことを確認し合った。



濃飛支部会報11号

北勢支部

●支部研修会

令和三年十一月二十一日(日)午前十時より四日市々水沢町の澄懷堂美術館にて研修を行いました。今回はコロナ感染防止対策として各自で現地に集合して頂きました。

澄懷堂美術館は全国でも数少ない中国書画専門の美術館です。戦前の元農相である山本悌二郎氏が明治から大正にかけて蒐集した中国の宋・元・明・清時代の書画を中心に収蔵され、この収蔵品を悌二郎氏の側近である三重の実業家・猪熊信行氏が譲り受け、美術品を一般公開し、後世に伝える為、別荘であるこの屋敷を美術館として開館されました。

今回の館内には王鐸「臨王羲之丘令帖」梁獻「臨王羲之五唯帖」銭坵「篆書張協七命之句」黎簡「唐人詩意图」呉昌碩「達磨図団扇」等、二階には日本の江戸時代伊藤東所、門田樸斎、亀井南冥等の半切作品を鑑賞し、大変感銘を受け、お庭に実った柑橋を頂き、各自帰路につきました。(参加者十八名)



井後尚久氏による作品解説



澄懷堂美術館

中南勢支部

●支部集会

日時 令和三年十一月十三日(土)
午後一時
会場 三重県立美術館 講堂
参加者 四十七名

本部から伊藤仙游理事長、加藤裕副理事
長のご臨席を賜り、令和三年度中南勢支部
集会を開催しました。二年度、三年度の事
業報告、収支決算報告、四年度の事業計画、
予算案を報告しました。

●講演会

日時 令和三年十一月十三日(土)
午後二時
会場 三重県立美術館 講堂
参加者 四十七名



講演会揮毫風景



講演会風景

講師 中部日本書道会理事長
伊藤仙游先生
演題 「書と私と王鐸」

先生の生い立ちから王鐸の文章論まで、
王鐸を究められた先生のお姿を拜見できま
した。また席上揮毫をしていただき、使わ
れている筆の説明、運筆、落款に至るまで
具体的に教えていただき、先生を取り囲む
会員の真剣な姿を見ることができました。
ご持参いただいた色紙と揮毫していただい
た半切作品は、参加者のジャンケン勝ち抜
きゲームにより、頂戴した次第です。有意
義なお時間ありがとうございました。

●支部展

日時 十一月十日(水)～十四日(日)
九時～十七時
会場 三重県立美術館(県民ギャラリー)
賛助作品 本部より五点(名誉副会長鬼
頭翔雲先生作品)
入場者数 三五〇名

コロナ禍の中、陳列に関しては密にならな
いように、また手袋を用意し作業しました。
その日の午後より十四日まで開催し、日頃
研究されている作品が並び、会員のエネル
ギーが伝わってくる思いでした。四年度は
三十五回展(記念)になります。新しい試み
を考えておりますので会員の皆様には早々
にお知らせをしたいと思います。ただ早く
コロナウイルスの収束を願うばかりです。



支部展風景

岐阜支部

●支部事務局会議

第五回 令和三年十月七日(木)
第六回 十一月五日(金)
第七回 十二月七日(火)
第八回 令和四年二月十四日(月)
三月二十二日(火)

●第二十六回岐阜支部展

会期 十二月二十四日(金)～
二十六日(日)
会場 岐阜市民会館
出品者数 二三八名
入場者数 九十名

●支部講演会

日時 二月二十三日(水・祝)
午後三時半
会場 ホテルグランヴェール岐山
参加者 四十五名
講師 加藤栄三・東一記念美術館
館長 山本真一先生
演題 「日本画の歴史と鑑賞」



岐阜支部第26回支部展



岐阜支部講演会

日本画は仏教に付随して「アジヤンター
石窟寺院」「敦煌莫高窟」「法隆寺金堂壁画」
等の仏教画、壁画から始まり飛鳥、室町、
安土桃山、元禄と時代の流れに変改されて
来た。又材料、技法についてはヨーロッパ、
エジプト、アジアで用いられたものを使用
し絵を描く行為を始めた時から殆ど変化し
ていない。明治時代に文明開化となり廃仏
毀釈、神仏分離令に西洋化へと進むがアー
ネスト・フェノロサ、岡倉天心により日本
美術の保護がなされ東京芸術学校を設立、
その後紆余曲折を経て文展、日展へとつが
なって行った。

鑑賞はその画の描かれた背景を探り、作
者の心情に思いをいたすこと、又書と同様
絵にも余白の美しさも重要とのこと、先生
が描かれる時の心情、時代にも影響を受け
ているとのことでした。簡単に内容を記載
しました。

●支部事務局全体会議

三月十三日(日)
ホテルグランヴェール岐山
令和三年度事業報告
参加者 二十九名